

II. 進級と卒業の条件について【2007年度以降入学者】

(1) 学則の一部改正

2011年度より、「メディア技術基礎 (Web)」「メディア技術基礎 (ネットワーク・画像処理)」「メディア技術基礎 (3Dプログラミング)」は、創造技法プログラミング科目 E 系列に変更されました。

但し、2010年度以前に取得した単位は変更されません。

(2) 第 2 学年への進級

次の 2 条件を満たすと第 2 学年へ進級します。

- ① 入学後 2 学期以上在学し (休学期間を除く)、自由科目を除いて 30 単位以上修得すること。
- ② 次の所定の単位を、それぞれすべて修得すること。

総合政策学部		環境情報学部	
総合政策学の創造	2 単位	環境情報学の創造	2 単位
創造実践科目	2 単位以上	創造実践科目	2 単位以上
先端発見科目	2 単位以上	先端発見科目	2 単位以上

(3) 第 3 学年への進級

入学後 4 学期以上在学し (休学期間を除く)、自由科目を除いて 60 単位以上修得すると第 3 学年へ進級します。

(4) 第 4 学年への進級

次の 2 条件を満たすと第 4 学年へ進級します。

- ① 第 3 学年であり、かつ、入学後 6 学期以上在学 (休学期間を除く) すること。
- ② 次の所定の単位を、それぞれすべて修得すること。

総合政策学部		環境情報学部	
創造技法言語コミュニケーション科目 4 単位以上 ※ 1			
創造技法ナレッジスキル科目	4 単位以上	創造技法ナレッジスキル科目	4 単位以上
創造技法プログラミング科目	4 単位以上	創造技法プログラミング科目	8 単位以上 ※ 2
		* ただし 2 系列以上から 8 単位以上を修得すること	
創造技法ウェルネス科目	4 単位	創造技法ウェルネス科目	4 単位
* 体育 1・体育 2・体育 3・心身ウェルネスのすべてを修得すること		* 体育 1・体育 2・体育 3・心身ウェルネスのすべてを修得すること	
創造融発科目	2 単位以上	創造融発科目	2 単位以上
研究会 A または研究会 B	2 単位以上	研究会 A または研究会 B	2 単位以上

※ 1 以下の科目は、創造技法言語コミュニケーション科目の 4 単位に含めることができません。

プロジェクト英語 A, プロジェクト英語 B, プロジェクト英語 C, プロジェクト英語 D, 英語海外研修 A, 英語海外研修 B, ロシア語ベーシック 1, ロシア語ベーシック 2, イタリア語ベーシック 1, イタリア語ベーシック 2

※ 2 A 系列、B 系列、C 系列、D 系列、E 系列のうち、2 系列以上から 8 単位以上修得すること。系列は 3. 創造技法科目の概要 (1) プログラミング科目 (P. 34) を参照してください。

(5) 卒業	<p>次の2つの条件を満たすと卒業になります。</p> <p>① 第4学年であり、かつ、入学後8学期以上在学（休学期間を除く）すること。</p> <p>② 「卒業プロジェクト2」（※3）を含め124単位以上を修得すること。</p> <p>ただし、次の単位は卒業に必要な124単位に含めることができません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自由科目として修得したすべての単位 ・特設科目として修得した単位のうち、20単位を超えたもの ・他学部等設置科目として修得した単位（※4）や、入学後に他大学（留学など）などで履修および認定されて修得した単位の合計のうち、60単位を超えたもの <p>※3 「卒業プロジェクト2」を履修するためには、「卒業プロジェクト1」を単位修得しなければなりません。但し、「国外留学申請」が教授会で承認され、事前に必要な手続きを行った場合にはこの限りではありません。P.81<留学手続きについて>を参照してください。</p> <p>※4 他学部等設置科目として修得する単位の中には、総合政策学部の学生は環境情報学部設置の先端導入科目および先端開拓科目、環境情報学部の学生は総合政策学部設置の先端導入科目および先端開拓科目が含まれます。</p>
(6) 処分退学	<p>学則第156条により、次の場合には退学処分となります。留意の上、履修計画をたててください。特に1学期間に履修できる単位には上限がありますので、病気等のやむをえない理由で履修できないときは、休学することなども考慮しましょう。</p> <p>【学部学則第156条（抜粋）】</p> <p>①同一学年に2年在学し、なお進級し得ない者または同一学年に8年在学し卒業し得ない者は退学させる。</p> <p>②前項の規定にかかわらず、総合政策学部および環境情報学部では、同一学年に4学期以上在学し、進級および卒業し得ない者は退学させる。</p> <p>③休学期間は、在学年数に算入しない。</p>
(7) 在学期間延長制度	<p>2011年度より、4年生が卒業に必要な単位を満たした場合でも、在学期間延長を申請し許可を得られれば、引き続き2学期まで在学することができる「学部学生在学期間延長制度」が施行されました。（参照：平成24年度学部学則第169条）</p> <p>これに伴い、従来の9月入学生を対象とした「卒業延長」制度は廃止されました。詳細については、SFC公式ウェブサイト及び掲示にてお知らせいたしますので、注意してください。</p>
(8) 学士入学者	<p>入学後2学期以上在学し（休学期間を除く）、創造実践科目から2単位以上、創造融発科目から2単位以上、研究会Aまたは研究会Bから2単位以上を修得すると第4学年に進級します。</p>
① 第4学年への進級	
② 卒業	<p>次の3条件を満たすと卒業になります。</p> <p>① 入学後4学期以上在学すること（休学期間を除く）。</p> <p>② 「卒業プロジェクト2」（※5）を含め50単位以上を修得すること。</p> <p>ただし、次の単位は卒業に必要な50単位の中に含めることができません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自由科目として修得した全ての単位 ・特設科目として修得した単位のうち、20単位を超えたもの ・他学部等設置科目として修得した単位（※6）や、入学後に他大学（留学など）などで履修および認定されて修得した単位の合計のうち、16単位を超えたもの <p>※5 「卒業プロジェクト2」を履修するためには、「卒業プロジェクト1」を単位修得することが必要です。但し、「国外留学申請」が教授会で承認され、事前に必要な手続きを行った場合にはこの限りではありません。P.81<留学手続きについて>を参照してください。</p> <p>※6 他学部等設置科目として修得する単位の中には、総合政策学部の学生は環境情報学部設置の先端導入科目および先端開拓科目、環境情報学部の学生は総合政策学部設置の先端導入科目および先端開拓科目が含まれます。</p>

(9) 第2学年編入者

① 第3学年への進級

次の2条件を満たすと第3学年へ進級します。

- ① 編入学後2学期以上在学し（休学期間を除く）、自由科目を除いて60単位以上修得すること。
- ② 次の所定の単位を、それぞれすべて修得すること。

総合政策学部		環境情報学部	
総合政策学の創造	2単位	環境情報学の創造	2単位
創造実践科目	2単位以上	創造実践科目	2単位以上
先端発見科目	2単位以上	先端発見科目	2単位以上

② 第4学年への進級

次の2条件を満たすと第4学年へ進級します。

- ① 第3学年であり、かつ、編入学後4学期以上在学（休学期間を除く）すること。
- ② 次の所定の単位を、それぞれすべて修得すること。

総合政策学部		環境情報学部	
創造技法言語コミュニケーション科目	4単位以上 ※7		
創造技法ナレッジスキル科目	4単位以上	創造技法ナレッジスキル科目	4単位以上
創造技法プログラミング科目	4単位以上	創造技法プログラミング科目	8単位以上 ※8 *ただし2系列以上から8単位以上を修得すること
創造技法ウェルネス科目	4単位	創造技法ウェルネス科目	4単位
*体育1・体育2・体育3・心身ウェルネスすべて修得すること		*体育1・体育2・体育3・心身ウェルネスすべて修得すること	
創造融発科目	2単位以上	創造融発科目	2単位以上
研究会Aまたは研究会B	2単位以上	研究会Aまたは研究会B	2単位以上

※7 以下の科目は、創造技法言語コミュニケーション科目の4単位に含めることができません。

プロジェクト英語A, プロジェクト英語B, プロジェクト英語C, プロジェクト英語D, 英語海外研修A, 英語海外研修B, ロシア語ベーシック1, ロシア語ベーシック2, イタリア語ベーシック1, イタリア語ベーシック2

※8 A系列、B系列、C系列、D系列、E系列のうち、2系列以上から8単位以上修得すること。系列は 3. 創造技法科目の概要 (1)プログラミング科目 (P.34) を参照してください。

③ 卒業

次の2つの条件を満たすと卒業になります。

- ① 第4学年であり、かつ、編入学後6学期以上在学（休学期間を除く）すること。
- ② 「卒業プロジェクト2」(※9)を含め124単位以上を修得すること。

ただし、次の単位は卒業に必要な124単位に含めることができません。

- ・自由科目として修得したすべての単位
- ・特設科目として修得した単位のうち、20単位を超えたもの
- ・他学部等設置科目として修得した単位(※10)や、入学後に他大学(留学など)などで履修および認定されて修得した単位の合計のうち、60単位を超えたもの

※9 「卒業プロジェクト2」を履修するためには、「卒業プロジェクト1」を単位修得しなければなりません。但し、「国外留学申請」が教授会で承認され、事前に必要な手続きを行った場合にはこの限りではありません。P.81<留学手続きについて>を参照してください。

※10 他学部等設置科目として修得する単位の中には、総合政策学部の学生は環境情報学部設置の先端導入科目および先端開拓科目、環境情報学部の学生は総合政策学部設置の先端導入科目および先端開拓科目が含まれます。

(10) ベトナムIT人材育成プロジェクトによる第3学年編入(環境情報学部)者
① 第4学年への進級

次の2条件を満たすと、第4学年へ進級します。

- ① 入学後2学期以上在学すること(休学期間を除く)。
- ② 「環境情報学の創造」2単位、「研究会A」または「研究会B」から2単位以上を修得すること。

科目履修にあたってはメンターと合意して決定すること。

② 卒業

次の2条件を満たすと、卒業になります。

- ① 入学後4学期以上在学すること(休学期間を除く)。
- ② 次の所定の単位を、それぞれすべて修得すること。
 - (A) 「研究会A」または「研究会B」から6単位以上を修得すること
 - (B) 「卒業プロジェクト1」2単位、「卒業プロジェクト2」2単位(※11)修得すること
 - (C) 「研究会A」、「研究会B」、「卒業プロジェクト1」、「卒業プロジェクト2」以外の科目の合計30単位以上修得することただし、次の単位は卒業に必要な30単位の中にも含めることができません。
 - ・自由科目として修得した全ての単位
 - ・特設科目として修得した単位のうち、20単位を超えたもの
 - ・「日本語スキル」として修得した単位のうち、4単位を超えたもの
 - ・他学部等設置科目(総合政策学部設置の先端導入科目および先端開拓科目を含む)として修得した単位(※12)や、入学後に他大学(留学など)などで履修および認定されて修得した単位の合計のうち、16単位を超えたもの

※11 「卒業プロジェクト2」を履修するためには、原則として「卒業プロジェクト1」を単位修得しなければなりません。

※12 他学部等設置科目として修得する単位の中には、環境情報学部の学生は総合政策学部設置の先端導入科目および先端開拓科目が含まれます。

科目の履修にあたってはメンターと合意して決定すること。メンターの指定した科目の単位が修得されていない場合には学士候補(「卒業プロジェクト1」の単位)と認めない。

Ⅲ. 進級と卒業の条件について【2006年度以前入学者】

(1) 第2学年への進級	入学後2学期以上在学し（休学期間を除く）、自由科目を除いて30単位以上修得すると第2学年へ進級します。
(2) 第3学年への進級	入学後4学期以上在学し（休学期間を除く）、自由科目を除いて60単位以上修得すると第3学年へ進級します。
(3) 第4学年への進級	第3学年であり、かつ入学後6学期以上在学した場合（休学期間を除く）、第4学年へ進級します。
(4) 卒業	次の2条件を満たすと卒業になります。 ① 第4学年であり、かつ、入学後8学期以上在学（休学期間を除く）すること。 ② 次の所定の単位を、それぞれすべて修得すること。

総合政策学部	環境情報学部
合計124単位以上	
ただし、次の単位は卒業に必要な124単位の中にも含めることはできません。 ・自由科目として修得した全ての単位 ・特設科目として修得した単位のうち、20単位を超えたもの ・他学部等設置科目として修得した単位（※1）や、入学後に他大学（留学など）などで履修および認定されて修得した単位の合計のうち、60単位を超えたもの	
旧外国語科目と創造技法言語コミュニケーション科目、英語基礎1、英語基礎2から10単位以上 ただし1言語で8単位以上、別言語で2単位以上	
旧情報技術科目、創造技法プログラミング科目、情報基礎、情報技術ワークショップから8単位以上	
旧ナレッジスキル科目、創造技法ナレッジスキル科目から4単位以上	
保健衛生または心身ウェルネス、体育Ⅰまたは体育1、体育Ⅱまたは体育2、体育Ⅲまたは体育3を4単位修得のこと	
2006年度以前に修得した旧専門科目（共通基盤科目、総合政策系科目、複合系科目） および2007年度以降に修得した総合政策先端導入科目、環境情報先端導入科目の合計で16単位以上	2006年度以前に修得した旧専門科目（共通基盤科目、環境情報系科目、複合系科目） および2007年度以降に修得した総合政策先端導入科目、環境情報先端導入科目の合計で16単位以上
2006年度以前に修得した旧クラスター科目（共通基盤科目、総合政策系科目、複合系科目） および2007年度以降に修得した総合政策先端開拓科目、環境情報先端開拓科目の合計で16単位以上	2006年度以前に修得した旧クラスター科目（共通基盤科目、環境情報系科目、複合系科目） および2007年度以降に修得した総合政策先端開拓科目、環境情報先端開拓科目の合計で16単位以上

※1 他学部等設置科目として修得する単位の中には、総合政策学部の学生は環境情報学部設置の先端導入科目および先端開拓科目、環境情報学部の学生は総合政策学部設置の先端導入科目および先端開拓科目が含まれます。

2006年度までに修得した専門科目、クラスター科目における単位カウントについて
「ナレッジスキル科目」や「情報技術科目」は、同じ科目が同時に専門科目やクラスター科目の「共通基盤科目」とされることがあるため、複数の科目種類に同時に属する科目は、それぞれの科目種類で卒業に必要な単位にも同時に含めることができます。ただし総単位数はその科目の単位分しか計算できないので、注意してください。

「ナレッジスキル科目」および「専門科目」としてカウントできる科目

多変量データ分析A	多変量データ分析B	統計データベース	統計言語
計量モデル	心理情報解析	テキスト意味空間分析	Web テキスト処理法

「ナレッジスキル科目」および「クラスター科目」としてカウントできる科目

現代数学	数理と現象	数値と近似	情報数学Ⅱ
数理モデルA	数理モデルB	多変量解析	時系列解析法
情報解析法	データベース構築法	知識データベース論	探索的モデリング

「情報技術科目」および「専門科目」としてカウントできる科目

システム・プログラミング	論理プログラミング	記号処理プログラミング	データ構造とプログラミング
ネットワークプログラミング	グラフィックスプログラミング	モバイルプログラミング	

(5) 処分退学

学則第156条により、次の場合には退学処分となります。留意の上、履修計画をたててください。特に1学期間で履修できる単位には上限がありますので、病気等のやむをえない理由で履修できないときは、休学することなども考慮しましょう。

【学部学則第156条（抜粋）】

- ①同一学年に2年在学し、なお進級し得ない者並びに同一学部で8年在学し卒業し得ない者は退学させる。
- ②前項の規定にかかわらず、総合政策学部・環境情報学部では、第1学年に4学期在学し第2学年に進級し得ない者、第2学年に4学期在学し第3学年に進級し得ない者、第3・第4学年併せて8学期在学し卒業し得ない者は退学させる。
- ③休学期間は在学年数に算入しない。

(6) 在学期間延長制度

2011年度より、4年生が卒業に必要な単位を満たした場合でも、在学期間延長を申請し許可を得られれば、引き続き2学期まで在学することができる「学部学生在学期間延長制度」が施行されました。（参照：平成24年度学部学則第169条）

これに伴い、従来の9月入学生を対象とした「卒業延長」制度は廃止されました。詳細については、SFC公式ウェブサイト及び掲示にてお知らせいたしますので、注意してください。

IV. 新入生のみなさんへ

(1) 新入生のみなさんへの メッセージ

みなさんがこれから履修する科目は、2007年度から始まった新しいカリキュラムにもとづいて設置されたものです。新しいカリキュラムでは、SFCのこれまでの「先端」性に加え、「創造」の軸が明示的に加わりました。具体的には、ものを生み出したり実践したりする経験を、学部のはじめの段階から何度も経験することで、自らアウトプットする能力を高めていくということです。つまり、これまでの「研究プロジェクト中心」というコンセプトをさらに進めるために、「創造」と「先端」の2本柱の科目が提供されるのです。とても重要なことなので、授業を選択・履修するときには、ぜひこのことを意識してみてください。

大学での学び・研究を「料理」に例えると、みなさんに求められているのは、自分なりの創作料理をつくる、ということです。提供される科目はあくまでも料理のための食材にすぎません。どのような食材をつかって何をつくるのか？——それは学生のみなさん一人ひとりが、考えていくことです。もちろん、いくつかコツがあります。先輩たちがどのような食材を選び、何をつくったのかを知ることは有益でしょう。また、メンターの先生に相談してみるのもよいでしょう。しかし、SFCでは決められたレシピというものはありません。やはり最後は、自分で考えるということが重要になります。

料理の例えで、もうひとつ重要なことがあります。先ほど、科目はあくまでも料理のための食材だ、といいました。そうなんです。食材を仕入れるだけでは、料理にはなりません。料理を「つくる」ことが必要なのです。SFCでは、みなさんは自分の“研究プロジェクト”に取り組むことが期待されています。そのために用意されている厨房が「研究会」という場です。ただ単に食材を集めてためておくのではなく、それを研究会の場で料理してみてください。そして最後には、大学生活をかけて磨いた腕をふるって、卒業プロジェクトに取り組みましょう。あなただけの創作料理、期待しています。

総合政策学部・環境情報学部のカリキュラムは、高い自由度で科目を履修できるようになってはいますが、将来、より自由に科目を履修するためにも、早期に履修を終えておくべきことが望ましい科目があります。

これらの科目は、他の発展的な科目を学ぶ上での基礎となる科目であり、SFCでの研究・学習上のビューを得るために有益な科目ばかりです。これらを履修せずに残しておく、学年が進んだときに、就職活動や研究活動、あるいはその時本当に履修したい科目を犠牲にしなければ、必修の単位履修が困難になってしまう可能性があります。2年次以降に後悔しないためにも、まずはこれらの科目を学習計画の中心に据え、できるだけ1年次に履修してください。

特にクラス指定がある科目などは、その同じ時限にある別の科目を履修したいばかりに履修を後回しにしたくなるものです。しかし、1年次に履修を済ませておくことが2年次以降大きなメリットになるはずですから、長期的視野のもとに履修計画を検討してください。

なお、それぞれの科目群の概要については、「I. カリキュラム」の「2. 科目群の趣旨と概要」をよく読んでください。

創造技法言語コミュニケーション科目については、『KEIO SFC GUIDE 2012（言語コミュニケーション科目履修案内）』をよく読み、入学後1学期目または2学期目から計画的に履修してください。

(2) 1年生必修科目
(2年生への進級条件)

科目の種類、単位	科 目
総合講座科目 2単位	総合政策学の創造 (総合政策学部生) 環境情報学の創造 (環境情報学部生)
創造実践科目 2単位以上	
先端発見科目 2単位以上	

(3) 1年生推奨科目

履修推奨時期	科目の種類、単位	科 目
入学1学期目	創造技法ウェルネス科目 各1単位	体育1 (実技・講義)
		心身ウェルネス
	リフレッシュャー科目	情報基礎 ※1
入学2学期目	創造技法ウェルネス科目 各1単位	体育2 (実技・講義)、 体育3 (実技・講義)
	創造技法プログラミング科目	論理思考とプログラミング、 コンピュータ基礎とプログラミング のいずれか1科目
入学1学期目 or 2学期目	リフレッシュャー科目	数学基礎、科学基礎 (地理学)、 科学基礎 (物理・化学)
	創造技法ナレッジスキル科目 各2単位	データ獲得法、データベース概論、 リサーチデザイン、データ分析、 モデリング・シミュレーション技法、 数理と社会、数学と論理、 線形の理論、変化の理論、 情報数学1のいずれか1科目
	創造技法言語コミュニケーション科目	

2. 科目郡の趣旨と概要 (P. 32)、『KEIO SFC GUIDE 2012 (言語コミュニケーション科目履修案内)』、およびシラバスを参照の上履修計画を立ててください。

(4) SFC-SFS

SFC-SFS (Site For Communication among Students, Faculty & Staff) は、学生の皆さんと教員、職員のコミュニケーション、学習・研究支援のためのシステムで、以下3つのコミュニケーションを支援します。

1. 授業に関するコミュニケーション
2. 卒業までの学習・研究プランに関するコミュニケーション
3. メンターとのコミュニケーション

入学後に発行される CNS アカウントとパスワードを取得後、<https://vu9.sfc.keio.ac.jp/sfc-sfs/> からログインしてみましょう。

学生の皆さんは、1学期に一度、自分のプロフィールや学習の目標設定、履修計画を SFC-SFS に入力し、メンターとの面談を行うことになっています。SFC-SFS に自分が記入したものやメンターとのやり取りは履歴として残りますので、「自分の考え方や興味の変化を追う」、「卒業までの学習・研究計画をさらに具体化させていく」など、様々な利用方法があります。

SFC-SFS では、Web履修申告までの間に、履修を希望する科目の時間割を作成する機能（履修申告は別途行わなければなりません）や、履修科目の担当教員や TA/SA へのメール送信、授業資料の閲覧、課題の提出、学事 Web システムへのログインなどが可能です。操作方法は、SFC-SFS トップページにある「学生用マニュアル」に詳細が掲載されていますので、各自でダウンロードして使用してください。

(5) 授業調査

SFC-SFS を利用し、学期終わりに全科目一斉に全体調査を行います。全体調査期間中に、履修している授業すべてに回答してください。毎学期、継続的に全体調査を行うことにより、授業期間内での授業方法等の向上・情報の蓄積・統計の正確性・学生への情報源の確保等を目指しています。あわせて、全体調査に回答した学生の意見に対して、担当教員からのコメントが記入された上で、結果が公開（塾内限定）されます。

V. 授業について

(1) 学事日程	<p>春学期は、4月1日～9月21日まで、秋学期は、9月22日～翌年3月31日までです。次年度の学事日程は、12月上旬に塾生ホームページにてお知らせします。</p> <p>また、月、木曜日の授業回数が不足するため、実際の曜日にかかわらず「代替講義日」として、月、木曜日の時間割で授業を実施する場合があります。</p>
(2) 休講・補講	<p>止むを得ず授業が休講となる場合（代替講義日を含む）は、原則として補講を実施することとなっており、土曜日あるいは指定の「補講日」に実施されます。</p> <p>SFC-SFS から学事 Web システムへ認証なしでログインできますので確認してください。</p>
(3) 緊急時における授業の取扱い	<p>政府や気象庁から「東海地震注意情報」が発せられた場合や、各種自然災害・大規模な事故等による鉄道等交通機関の運行停止、その他緊急事態が発生した場合の授業の取扱いは次のとおりとします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 政府や気象庁から「東海地震注意情報」が発せられた場合 首都圏・東海地方を中心とする大規模な地震発生が予想され、政府や気象庁から「東海地震注意情報」が発せられた場合は、ただちに全学休校とします。なお、地震が発生することなく「東海地震注意情報」が解除されたときの対応については、ホームページ等を通じてお知らせします。 鉄道等交通機関の運行停止やその他緊急事態発生の場合 台風・大雨・大雪・地震等の各種自然災害や大規模な事故等による鉄道等交通機関の運行停止、その他緊急事態の発生により、休講措置をとらざるを得ない場合はホームページ等を通じてお知らせします。 SFC公式ウェブサイト http://www.sfc.keio.ac.jp/ 塾生ホームページ http://www.gakuji.keio.ac.jp/index.html <p><その他の注意事項> 授業開始後に緊急事態が発生した場合は、状況により授業の短縮や早退など別途措置を講じます。 掲示や構内放送、上記のホームページによる大学からの指示に従ってください。</p>
(4) 全塾的行事における授業の取扱い	<ol style="list-style-type: none"> 早慶野球戦当日の授業の取扱い 毎年、春学期は5月下旬～6月上旬、秋学期は10月下旬～11月上旬の土、日曜日に行われます。試合が行われる日の授業は応援のため休講とします。なお、看護医療学部の実習科目は平常通り開講します。ただし、雨天等で中止となった場合は、平常通り授業を行います。 また、雨天順延、同点決勝等で月曜日に試合が行われる場合、その日の学部の授業は休講となりますが、大学院は平常通り授業を行います。火曜日以降の試合については、優勝がかかっている場合または優勝決定戦への進出がかかっている場合にかぎり、学部の授業は休講となります。 三田祭期間の授業の取扱い 11月下旬に開催される三田祭期間（準備期間および後片付け期間を含む）は、学部・大学院とも休講となります。なお、看護医療学部の実習科目は平常通り開講します。 <p>注：授業の取扱いに変更が生ずる場合は、掲示およびSFC公式ウェブサイトを通じてお知らせします。</p>
(5) 裁判員候補者に選定された場合の取扱い	<p>慶應義塾では、いわゆる「公欠」の制度はありません。裁判員候補者に選定され、授業の出欠に迷う場合は、事務室学事担当へご相談ください。なお、欠席が認められない場合がありますので、ご注意ください。</p>

VI. 履修申告方法

<p>(1) 履修申告とは</p>	<p>履修申告はその学期に履修する科目を登録するものであり、修学的意思を確認するものでもあります。以下をよく読み、絶対に誤りのないように行ってください。</p> <p>なお、科目を登録せずに休学する場合は、あらかじめ所定の「休学願」を提出してください。「休学願」は履修申告後でも、春学期は5月末日、秋学期は11月末日まで提出することができます。</p>
<p>(2) 2012年度履修申告期間</p> <p>① 春学期</p> <hr style="border-top: 1px dashed #000;"/> <p>② 秋学期</p>	<p>期間：4月16日(月)10:00～4月17日(火)15:00 日吉設置共通授業科目（日吉キャンパス平成24年度講義要綱・シラバス参照）は日吉キャンパス在籍者の履修が優先のため履修申告できません。</p> <hr style="border-top: 1px dashed #000;"/> <p>期間：10月3日(水)10:00～10月4日(木)15:00（予定） SFC/矢上：理工学部（教職科目除く）/看護医療学部 設置科目</p>
<p>(3) 履修申告における 注意事項</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① 定められた期間に必ず履修申告してください。申告がない場合は、修学的意思が確認できないとして、学則第188条により退学に処せられることがあります。 ② その学期に履修する科目はすべて申告してください。クラス指定のある科目や、前の学期に履修希望登録をした場合も同様です。ただし、体育2、体育3は、一度履修申告をすると、単位を修得するまで学期をまたがって申告内容が有効となりますので、再度の申告は不要です。 ③ 履修申告期間後はいかなる理由があっても科目の追加、削除はできません。 ④ 履修申告していない科目は、試験を受けても一切無効であり、単位の修得はできません。 ⑤ 他学部の科目は、通年科目や秋学期開講科目も含め、春学期に申告しなければなりません（矢上：理工学部設置科目（教職科目は除く）・看護医療学部設置科目を除く）。詳細は、「他キャンパスおよび看護医療学部設置科目の履修」の項（P.67）を確認してください。 ⑥ 履修科目の分野（科目の種類）の変更は、履修申告修正期間のみ行えます。 ⑦ 時間割表の記載内容は、運用上、変更されることがあります。履修申告前に掲示およびWebのお知らせを必ず確認してください（学事Webシステムでは、変更が反映され、最新の情報になっていますので、配布された時間割表と異なる場合があります）。 ⑧ 履修申告は時間に余裕を持って行い、疑問がある場合は履修申告期間内に事務室学事担当窓口にて確認してください。電話での問い合わせは受け付けません。

<p>(4) 学事 Web システムによる履修申告</p> <p>① 操作方法</p> <p>A. アクセス</p>	<p>SFC-SFS から学事 Web システムへ認証なしでログインできます。</p>
<p>B. 注意事項</p>	<p>学事 Webシステムの画面に記載されているシステムの使い方や注意事項を熟読してください。</p> <p>a. 履修申告科目を登録した後にエラーがある場合には、〈状態〉欄に「保留中」と表示されます。履修申告期間終了後に全て登録が取り消されます。</p> <p>b. 科目登録終了後、すべての科目の〈状態〉欄が「登録済」となっていることを確認したうえで、画面を控えとしてプリントアウトしておいてください。 HTMLファイル、Webアーカイブファイルとして保存しても構いません。</p> <p>c. 期間内は何度でも申告内容の変更ができますが、締め切り直前には動作が遅くなることがあります。</p>
<p>C. 新規履修申告 科目なし</p>	<p>卒業に必要な単位をすでに取得済みの場合も、必ず1科目以上を履修申告しなければなりません。</p> <p>ただし、下記のいずれかの条件に該当し、かつ当該学期の科目を新規に履修申告しない学生は、必ず「新規履修申告科目なし」のボタンを押してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「体育2」または「体育3」を履修中であり、その他の科目の履修申告をする予定がない場合 ・春学期に他学部や諸研究所に設置されている科目（通年・秋学期科目）を履修申告しており、秋学期にはその他の科目の履修申告をしない場合
<p>② トラブル</p>	<p>万一、システムに大規模なトラブルがあった場合や稼働状況の変更があった場合、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・塾生ホームページ：http://www.gakuji.keio.ac.jp/ ・SFC公式ウェブサイト：http://www.sfc.keio.ac.jp/の「在学生の方」SFC NEWSのページ ・A館掲示板 <p>などでお知らせします。</p>
<p>(5) 履修申告科目確認 および履修申告修正期間</p>	<p>履修の確定後（春学期は4月下旬、秋学期は10月中旬）に学事 Web システムの履修申告状況確認画面にて Web履修申告画面の控えと比較し、正しく申告が行われているかどうか必ず確認してください。不備なく履修申告が完了している場合、2012年度より「履修申告科目確認表」は郵送しません。申告内容が異なる場合や疑問点がある場合、「履修申告修正期間」に、履修申告状況確認画面をプリントアウトしたものを持参の上、事務室学事担当窓口で確認をしてください（Webでは修正作業は行えません）。</p> <p>不備がある場合のみ「履修申告科目確認表」を郵送しますので、必ず履修申告修正期間に修正してください。修正が行われない場合は、学習指導の判断により修正、削除します。</p> <p>履修申告修正期間には、当該学期に履修申告した科目の分野の変更（進級・卒業に必要な科目として履修申告した科目を自由科目に変更する。または、自由科目として履修申告した科目を進級・卒業に必要な科目に変更する）のみ可能です。新たな科目の追加、科目の削除はできません。</p> <p>履修申告修正期間中に手続きを完了しなかった場合、学則第144条の18および39により、単位を得られない等の不利益が生じることがあります。</p> <p>この期間に確認を怠ったために生じた不利益については、大学側は一切責任を持ちません。履修申告修正期間経過後は確認が終了したものとみなします。</p>

VII. 履 修

科目を履修するためには、各学期初めに履修申告を行わなければなりません。申告をしなかった科目については、単位は認められません。

(1) 履修者数制限

科目によっては、前提となる知識・スキル・履修前提科目などの履修条件を指定していることがあります。シラバスをよく読んで、前提条件を満たしていることを確認して履修してください。授業内では、前提となる知識・スキルの内容は、改めて説明されません。履修者数制限をする科目はシラバスに記載されていますので、初回の授業には**必ず出席しなければなりません**。

(2) 履修上限単位

進級・卒業に関わる科目として1学期間に履修できる単位の上限は20単位とし、自由科目を含めて30単位とします。

ただし「心身ウェルネス」「体育1」「体育2」「体育3」の単位は履修上限単位の20単位（および自由科目を含めた30単位）には含まれません。

履修申告時にこの単位を超える申告をした場合、全ての科目の登録ができません。履修上限を厳守してください。

(3) 各科目の単位数と 履修方法 ① 単位および開講形態

すべての科目は、それぞれ春学期・秋学期の中で完結するよう開講されますが、科目によって取得できる単位数が異なります。

各科目における修得できる単位と主な開講形態は次のようになっています（1学期間は15週です）。

科 目	開講形態	単位数
通常の講義科目 演習科目（特に指定がない場合）	週1回・1学期間	2単位
	週2回・1学期間	4単位
心身ウェルネス、基礎分子生物学1、 基礎分子生物学2、基礎分子生物学3、 基礎分子生物学4、生命情報解析、 生命分子機能、代謝システム工学、 メタボロミクス	週1回・1/2学期間	1単位
体育1	週1回・1学期間	1単位
体育2、体育3	各合計15回出席	各1単位
外国語ベーシック	週2回・1学期間	2単位
外国語インテンシブ	週4回・1学期間	4単位
英語基礎1、英語基礎2	週4回・1学期間	4単位

その他、卒業プロジェクト1、卒業プロジェクト2、卒業制作（2006年度以前入学用）、特別研究プロジェクト、インターンシップ、外国語の海外研修など、通常の授業時間以外に行われる科目があります。

大学設置基準による単位の扱いは、大学設置基準第六章第二十一条より以下のようになっています。

一単位の授業科目を四十五時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。

- A. 講義および演習については、十五時間から三十時間までの範囲で大学が定める時間の授業をもって一単位とする。
- B. 実験、実習および実技については、三十時間から四十五時間までの範囲で大学が定める時間の授業をもって一単位とする。

	<p>C. 卒業論文、卒業研究、卒業制作等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定めることができる。</p>
<p>② 履修可能学期と学年</p>	<p>ほとんどの科目は、学年に関係なくいつでも履修することができます。これは、研究・学習上の必要性や、興味によって幅広い選択肢から履修を可能にしている、ということです。しかし、ただ単に自由に科目を選択すべきである、という意味ではありません。</p> <p>重要な基礎的科目でも、すでにその科目の内容を修得しているような場合は、1年生であってもさらにその上位的位置付けの科目から履修してもよいし、ある特定の分野では専門性を身に付けていても、別の分野では基礎から学ばなければならないような場合、4年生であっても入門的な科目を履修することができる、ということでもあります。</p> <p>まずは導入的な科目を視野に入れ、研究・学習上の必要性から履修計画をたててください。</p> <p>導入的な科目は、SFCのどの分野においても求められる最低限の知識・スキルの習得を目的としています。特に新入生は、P.53の「新入生のみなさんへ」を読み、最初の履修計画の中心にしてください。</p>
<p>③ 休校期間中に行われる授業の履修</p>	<p>夏季・春季休校期間中に行われる授業（海外研修、インターンシップ、特別研究プロジェクト、フィールド研究等）は、参加した直後の学期に必ず履修申請してください。</p>
<p>④ 履修科目選択の際の注意点</p> <p>A. クラス指定</p>	<p>体育1、情報基礎には、クラス指定があります。体育1はクラスを変更することはできません。新入生のクラスは、ガイダンス期間中にクラス一覧が配布されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆体育1 ◆情報基礎（変更が可能です。創造技法プログラミング科目のページを参照のこと） ◆心身ウェルネス（春学期は、学期前半が総合政策学部、後半が環境情報学部となっています）
<p>B. 事前履修希望(クラス)登録のある科目</p>	<p>下記の科目はあらかじめ履修希望の申請が必要です。</p> <p>この登録は、履修申告ではありませんので、履修学期には別途履修申告を行わなければなりません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆外国語インテンシブ1（各学期の初めに申請） ◆英語基礎1、プロジェクト英語A～D（各学期の初めにWeb事前登録） ◆情報基礎（クラス変更を希望する場合のみ）、情報技術ワークショップ、論理思考とプログラミング、コンピュータ基礎とプログラミング（希望履修学期の前学期末頃および各学期の初め 詳細はhttp://ipl.sfc.keio.ac.jp/を参照のこと） ◆研究会A、研究会B（D. 研究会履修を参照のこと）
<p>C. 第1週目の授業</p>	<p>原則として、第1週授業前までにシラバスを確認し、SFC-SFSの授業調査結果なども参考にして履修計画を立て、シラバスを持参した上で、第1週目の授業に参加してください。履修科目の選択について迷う場合には、複数の教室を回ってもかまいませんが、それに伴って生じる不利益については、各科目の履修選抜方法を熟読の上、自身で回避してください（ただし、クラス指定や既にクラス分けされている科目については、この対象ではありません）。</p>

D. 研究会履修

研究会は、最も重要な科目です。是非、自分にもっとも適した研究会・研究テーマを選んでください。

- シラバス (URL: <http://vu.sfc.keio.ac.jp/project/>) :

前の学期中に開講される研究会シラバスが公開されます。

- 登録 :

シラバスをよく読み、選抜方法に従ってください。

選抜の結果、履修許可を得た場合には、必ず履修申告をしてください。許可を得ていない場合、履修申告をしても無効になります。研究会は自由科目での履修を含めて2つまで履修申告することができます。ただし、研究会Aを1学期間に2つ履修申告することはできません。

- タイプ :

研究会A・研究会Bの2種類があり、教員によってタイプが異なります(ただし1教員が学期内で異なる2つのタイプの研究会を開講することはありません)。

タイプ	開講	単位	受入人数の目安
A型	週2回	4単位	35名
B型	週1回	2単位	15名

- 履修可能学期 :

原則として9月入学生も含め、2年生から1学期間に2つまで履修申告できます。なお、1年生であっても、担当者に特に認められた場合は1学期間に1つだけ履修することもできます。

E. 特別研究
プロジェクト

研究会を担当している教員による、学期中ではできないような研究を夏季・春季休暇期間中に集中して行う科目です。参加した直後の学期に必ず履修申告を行ってください。当該学期に進級・卒業に必要な単位として履修申告できるのは2単位(1科目)です。2科目履修する場合は、1科目を自由科目として履修申告してください。ただし、参加した直後の学期に留学・休学等で在籍しない場合は履修申告が認められません。

F. フィールドワーク・
インターンシップ

いわゆる通常の授業以外に、長期休業期間中にキャンパスを離れ、自ら国内外に出向いて実地調査、研究活動を行う学習形態(オフ・キャンパス・スタディ)があります。このオフ・キャンパス・スタディの一環として、フィールドワークやインターンシップがあります。フィールドワークとは、自分で調査したいと考える国内外の実地に飛び出し、現地機関や住民の方などに最前線で調査・取材等を行い、成果をまとめるものです。インターンシップとは、一定期間企業等の中で研修生として働き、自分の将来に関連のある就業体験を行うものです。自身のキャリアアップのためにも、ぜひ積極的に挑戦してみてください。

フィールドワークやインターンシップを進級や卒業に必要な単位とするには、当該活動実施前に計画書などを提出し承認を得ること、および実施後の所定期間に行う履修申告が必要となります(科目名:「フィールド研究1」「フィールド研究2」「企業インターンシップ」「非営利組織インターンシップ」「社会企業インターンシップ」)。申請基準、活動時間、課題などの詳細はSFC公式ウェブサイトを参照してください(http://www.sfc.keio.ac.jp/students_soukan/class/fieldwork.html)。

G. 卒業プロジェクト1、卒業プロジェクト2

2007年度以降入学者用

卒業プロジェクトは、これまでSFCで培ってきた創造性と先端性を駆使し、卒業に向けて、研究成果を生み出すプロジェクトを自ら推進するもので、原則として第4学年で履修します。自らの研究として取り組んできた各種プロジェクトをまとめ上げる段階であり、通常は2学期間以上かけてメンターとの対話を行いながら進めます。

プロジェクトにおいては、古い知の伝達は目的ではありません。書籍や論文やインターネットを通じて、いつでも最新の知にアクセスすることができますが、そこには書かれていない、そして誰も論じていない知を求め、実践し、未来を創造していくことが、SFCにおける研究です。学んだことの内容で勝負するのではなく、学び、高め、究め続ける能力を身につけ、自分の人生とより良き社会をプロデュースできる人材の輩出をSFCは目指しており、その能力の獲得を証明する方法が卒業プロジェクトです。

卒業プロジェクト1:

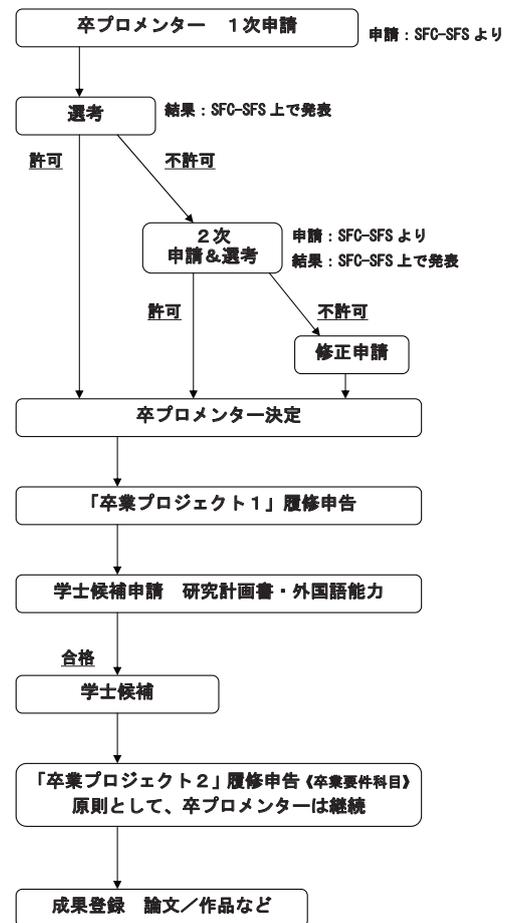
研究計画書や研究を遂行するにあたって必要となる外国語能力の評価・認定を受け、合格すると「学士候補」になります。

卒業プロジェクト2:

学士候補になると履修が認められます。論文や作品など実際の研究成果物を作成し、評価・認定を受けます。

【注意事項】

- ・「卒業プロジェクト2」は卒業要件ですが、履修するためには、「卒業プロジェクト1」を単位修得しなければなりません。但し、「国外留学申請」が教授会で承認され、事前に必要な手続きを行った場合にはこの限りではありません。P.81<留学手続きについて>を参照してください。
- ・4年生での卒業プロジェクトを念頭に、なるべく早い段階から、卒プロメンターの選定や外国語の学習を始めておく必要があります。
- ・申請方法や日程等の詳細は、掲示およびSFC公式ウェブサイトでお知らせします。



H. 卒業制作

2006年度以前入学者用

・履修可能時期：在籍の最終学期にあたる4年生

・履修条件：

必ず研究会A，研究会Bのいずれかを同時に履修し、履修した研究会の担当教員1名から許可を受け、指導を受ける必要があります。

・成果公開：

この科目を履修した学生は、その学期の最後に研究成果を論文や作品として提出しなければなりません。

グループで研究している場合でも、卒業制作は各個人で作成したものを提出する必要があります。また、各自の研究、制作に対する寄与が明確にわかるように作成してください。

I. 海外研修	<p>海外研修科目への参加申込方法は各外国語研究室に確認してください。参加前に誓約書を必ず提出し、参加した直後に必ず履修申告を行わなければなりません。この時期以外の履修申告は一切認められません。また、卒業に必要な単位として履修申告する場合は、各学期における履修上限単位数20単位に含めなければなりません(自由科目として申告することも可能です)。時期・内容は、各言語のページおよび各言語のホームページを参照してください。</p>
J. 大学院先取科目	<p>政策・メディア研究科の「プログラム科目(2006年度までは研究領域科目)」(学部併設科目を除く)を在学中に修得し、卒業後に政策・メディア研究科に進学した場合、8単位を限度として政策・メディア研究科修士課程修了に必要な単位に認められることがあります。先取科目として履修する場合、政策・メディア研究科の時間割表から同研究科の設置する「プログラム科目」として科目を選択し、A欄分野で履修申告しなければなりません。なお、修得した単位は、学部においては、自由科目として扱われます。</p> <p>政策・メディア研究科に進学後の認定方法など詳細は「大学院ガイド」を確認してください。</p>
(4) 自由科目	<p>修得した単位を、進級・卒業に必要な単位に含めることはできません。一度自由科目として修得した単位を、後に進級・卒業に必要な単位に変更することも、その逆もできません。</p> <p>履修上限を超えて履修する場合や、履修済み科目・同一科目を複数履修する場合、諸研究所設置科目を履修する場合には自由科目として履修します。</p> <p>ただし、次の科目は自由科目として履修することができません。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>自由科目として履修できない科目：</p> <p>英語基礎1、英語基礎2、外国語インテンシブ、外国語ベーシック、 ウェルネス科目(心身ウェルネス、体育1、体育2、体育3)、 卒業プロジェクト1、卒業プロジェクト2、卒業制作</p> </div>
(5) 同一科目	<p>担当者が異なる場合でも科目名が同じものは同一科目となり、重複して履修はできません(但し、外国語スキル、プロジェクト英語A～D、外国語海外研修A、外国語海外研修B、研究会A、研究会B、特別研究プロジェクトは除く)。</p> <p>また、修得済み科目と今年度以降に開講される科目において、科目名が異なっても同一科目とみなされるものがあります。</p>

(6) 科目の構成と
分野番号対応表

すべての科目には、「分野」が割り振られています。
履修申告での登録科目確認時や、履修申告科目確認表、学業成績表を確認する場合などに必要となります。
通常、履修申告の際に科目を登録するだけで、その科目が属する「分野」が自動的に登録されます。
しかし、通常と異なる「分野」で履修したい場合（自由科目で履修など）や、他学部・諸研究所の科目を履修したい場合には、「分野」を指定して履修申告しなければなりません。このとき指定する分野を「B欄分野」といいます。

2007年度以降に履修する科目の分野コード対応表

分野	科目の種類		B欄分野	
01 01 01	総合講座科目		—	
02 01 01	リフレッシャー科目		—	
03 01 01	創造支援系科目	創造実践科目	—	
03 02 01		創造技法科目	—	
03 03 01		創造技法プログラミング科目	A 系列	—
03 03 02			B 系列	—
03 03 03			C 系列	—
03 03 04			D 系列	—
03 03 05			E 系列	—
03 04 01		創造技法ナレッジスキル科目		—
03 05 01		創造技法言語コミュニケーション科目	英語	—
03 05 02			朝鮮語	—
03 05 03			中国語	—
03 05 04			マレー・インドネシア語	—
03 05 05			アラビア語	—
03 05 06			ドイツ語	—
03 05 07			フランス語	—
03 05 08			スペイン語	—
03 05 09			日本語	—
03 05 10			ロシア語	—
03 05 11		イタリア語	—	
03 06 01		創造技法ウェルネス科目	心身ウェルネス	—
03 06 02	体育1・体育2・体育3		—	
03 07 01	創造融発科目		—	
04 01 01	先端支援系科目	先端発見科目	—	
04 02 01		先端導入科目（総合政策学部設置科目（総合政策学部生） / 環境情報学部設置科目（環境情報学部生）	—	
04 02 09		先端導入科目（環境情報学部設置科目（総合政策学部生） / 総合政策学部設置科目（環境情報学部生）	—	
04 03 01		先端開拓科目（総合政策学部設置科目（総合政策学部生） / 環境情報学部設置科目（環境情報学部生）	—	
04 03 09		先端開拓科目（環境情報学部設置科目（総合政策学部生） / 総合政策学部設置科目（環境情報学部生）	—	
05 01 01	研究プロジェクト科目	研究会	—	
05 01 02		卒業プロジェクト	—	
05 01 03		その他	—	
06 01 09	他学部等設置科目		21	
07 01 01	教職課程教科に関する科目		—	
60 01 01	特設科目		—	
90 01 01	自由科目	自由科目	11	
90 09 02		プログラム科目（政策・メディア研究科設置）	—	

2006年度以前に履修した科目の分野コード対応表

分野			科目の種類	
10	01	03	英語	スキル
10	01	04		コンテンツ(外国語科目として)
10	01	05		海外研修
10	02	01	朝鮮語	インテンシブ
10	02	02		ベーシック
10	02	03		スキル
10	02	04		コンテンツ(外国語科目として)
10	02	05		海外研修
10	03	01	中国語	インテンシブ
10	03	02		ベーシック
10	03	03		スキル
10	03	04		コンテンツ(外国語科目として)
10	03	05		海外研修
10	04	01	マレー・インドネシア語	インテンシブ
10	04	02		ベーシック
10	04	03		スキル
10	04	04		コンテンツ(外国語科目として)
10	04	05		海外研修
10	05	01	アラビア語	インテンシブ
10	05	02		ベーシック
10	05	03		スキル
10	05	04		コンテンツ(外国語科目として)
10	05	05		海外研修
10	06	01	ドイツ語	インテンシブ
10	06	02		ベーシック
10	06	03		スキル
10	06	04		コンテンツ(外国語科目として)
10	06	05		海外研修
10	07	01	フランス語	インテンシブ
10	07	02		ベーシック
10	07	03		スキル
10	07	04		コンテンツ(外国語科目として)
10	07	05		海外研修
10	08	01	スペイン語	インテンシブ
10	08	02		ベーシック
10	08	03		スキル
10	08	04		コンテンツ(外国語科目として)
10	08	05		海外研修
10	09	02	ロシア語	ベーシック
10	10	02	イタリア語	ベーシック
10	99	03	日本語	スキル
10	99	04		コンテンツ(外国語科目として)

分野			科目の種類		
20	01	01	ウェルネス科目	保健衛生	
20	01	02		体育Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	
30	01	01	汎用科目	通常	
30	01	02		導入科目	ナレッジスキル科目
30	01	03		情報技術科目	
30	02	01		共通基盤科目	通常（ナレッジスキル科目、情報技術科目、コンテンツ以外）
30	02	02		ナレッジスキル科目	
30	02	03		情報技術科目	
30	02	04		コンテンツ	
30	03	01		総合政策系科目（総合政策学部生） / 環境情報系科目（環境情報学部生）	
30	04	01		複合系科目	
30	05	01		環境情報系科目（総合政策学部生） / 総合政策系科目（環境情報学部生）	
30	09	01	他学部等設置科目		
40	02	01	専門科目	通常（ナレッジスキル科目、情報技術科目、コンテンツ以外）	
40	02	02		共通基盤科目	ナレッジスキル科目
40	02	03		情報技術科目	
40	02	04		コンテンツ	
40	03	01		総合政策系科目（総合政策学部生） / 環境情報系科目（環境情報学部生）	
40	04	01		複合系科目	
40	05	01		環境情報系科目（総合政策学部生） / 総合政策系科目（環境情報学部生）	
40	09	01		他学部等設置科目	
50	02	01		クラスター科目	通常（ナレッジスキル科目、情報技術科目、コンテンツ以外）
50	02	02			共通基盤科目
50	02	03	情報技術科目		
50	02	04	コンテンツ		
50	03	01	総合政策系科目（総合政策学部生） / 環境情報系科目（環境情報学部生）		
50	04	01	複合系科目		
50	05	01	環境情報系科目（総合政策学部生） / 総合政策系科目（環境情報学部生）		
60	01	01	特設科目		
70	01	01	研究プロジェクト	研究プロジェクト	
70	01	02		特別研究プロジェクト	
70	01	03		卒業制作	
90	01	01	自由科目	通常（政策・メディア研究科設置の研究領域科目除く）	
90	09	01		研究領域科目（政策・メディア研究科設置）	

(7) 他キャンパスおよび看護医療学部設置科目の履修	他キャンパスおよび看護医療学部に設置されている科目を履修する場合は、以下の注意事項をよく読んで履修申請してください。
① 履修可能な科目	<p>他キャンパスおよび看護医療学部に設置されている科目は、各学部の履修制限の範囲内で、科目担当者の許可を得た場合に履修することができます。</p> <p>A. 各学部の必修科目や、クラス指定のある科目は、通常履修できません。詳細は、P. 68「他学部他研究科学生の履修を制限する科目(学部)」を参照してください。また、最新情報については、A館掲示板もしくは学生部の各学部担当に確認してください。</p> <p>B. 諸研究所に設置されている科目は、自由科目として登録しなければなりません。また、各研究所の研究生として登録しなければ履修できない場合があります。必ず各研究所発行の「履修案内」を確認してください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>諸研究所： 外国語教育研究センター、教職課程センター、教養研究センター、言語文化研究所、国際センター、情報処理教育室、体育研究所、知的資産センター、保健管理センター、アート・センター、メディア・コミュニケーション研究所、福澤研究センター、グローバルセキュリティ研究所、ス道文庫 など</p> </div> <p>C. 研究科(大学院)の科目は、原則として履修できません。</p>
② 履修可能学年	他学部では履修学年を明確に指定している科目がありますので、その指定に従ってください。特に三田・矢上設置科目は3年生以上が対象となります。(ただし、三田・文学部は2年生以上)
③ 時間上の制約	SFCと他キャンパスの科目を同じ曜日に履修する場合、連続する時限の科目を履修することはできません。たとえば、第2時限に他キャンパスの科目を履修する場合は、SFCで第1時限と第3時限に履修することはできず、1時限分以上間隔をあげなければなりません。
④ 通年科目の履修単位・成績	<p>通年科目はその単位を2等分したものを春学期と秋学期の履修単位に加算します。たとえば、4単位の通年科目は、春学期2単位、秋学期2単位を履修するものとみなします。同様に、3単位の通年科目は、春学期1.5単位、秋学期1.5単位です。</p> <p>しかし、修得単位として認められるのは、秋学期終了時のみです。分割して単位を認定することはありません。</p>
⑤ 履修申告	<p>他学部設置科目(矢上：理工学部設置科目(教職科目は除く)・看護医療学部設置科目を除く)は、通年科目、春学期科目、秋学期科目すべてを春学期にWeb履修申告しなければなりません。履修申告修正期間(分野変更のみ)も春学期間に設定された期間とします。諸研究所に設置されている秋学期開講科目は、秋学期に履修申告できる場合があります。詳細は当該科目が設置されている諸研究所に確認してください。</p> <p>秋学期の履修申告・履修申告修正期間には、春学期に履修申告済みの通年科目、秋学期科目とも修正・削除・分野変更は原則としてできません。ただし、SFCのクラス指定科目や未履修の必修科目との重複、春学期に掲載された秋学期時間割表に変更があった場合のみ削除することができます。履修申告開始前日までに事務室学事担当窓口まで申し出てください。</p>
⑥ 他キャンパスの抽選	他キャンパスの抽選で「履修不許可」となった場合は、該当科目を設置している学部(キャンパス)の対応に準じます。追加申告の認められない科目もあるので、その点を考慮のうえ履修申請してください。
⑦ Web履修画面でのエラー	許可を得ているにも関わらずWeb履修申告画面でエラー(学年条件不備、クラス指定不当など)表示が出た場合、エラー表示の出た画面をプリントアウトした上でエラー対象科目を削除して再度登録ボタンを押し、エラーのない状態で終了しSFC事務室学事担当窓口申し出てください。

他学部他研究科学生の履修を制限する科目 (学部)

【注意事項】

- 必ず事前に履修案内等を熟読し、他学部他研究科設置科目履修に必要な手続きをしてください。下記の科目以外にも、個々の授業によって履修の制限をする場合があります。必ず講義要綱・シラバスを熟読してください。
- 初回の授業で履修に関するガイダンスや履修の制限を行う場合があります。必ず初回の授業に出席してください。
- 所属学年による制限もあります。学年条件を満たしていない場合は、制限科目でなくても履修できません。
- 秋からは履修できない科目もありますので、シラバスや時間割等で確認してください。

地区	学部	履修可能な学年	制限科目
三田	文学部	学部2年生以上	<ul style="list-style-type: none"> ◆必修語学科目 (文学部時間割の語学科目に記載されている科目) ◆総合教育科目の系列科目 (文学部時間割の総合教育科目 (人文科学系列・社会科学系列・自然科学系列) に記載されている科目) ◆卒業論文・卒業試験 (研究会は履修可能) ◆講義要綱・シラバスにおいて履修の制限をすることが明記されている科目 *なお、上記の他に必修科目や、履修者数が多い場合は、文学部生優先となる科目もあります。 *セット科目: 要件科目は科目の性質上、履修できない場合があります。
		学部3年生以上	<ul style="list-style-type: none"> ◆「金融資産市場論 a/b」 ◆「金融投資サービス論 a/b」 ◆「経済政策のミクロ分析 a/b」 ◆「公共経済学 a/b」 ◆PCP 科目、研究プロジェクト科目 *一部の科目を除き、事前選考に合格した学生のみが履修できます。 ◆外国語科目の選択必修科目 *外国語科目の選択必修科目と併設する選択科目は履修可能です (登録番号が異なります)。 ◆東京工業大学設置科目
	法学部	3年生以上	なし
	商学部	学部3年生以上	<ul style="list-style-type: none"> ◆「経済学と法制度」 「イノベーションの経営・商業」 ◆「専攻演習 S」「専攻演習 D」 *抽選後人数に余裕があり、初回の授業で授業担当者の了承を得られれば履修可能です。必ず事前に空き状況を三田学生部商学部担当に確認してください。(許可願 (所定用紙) に授業担当者の了承印が必要です)。 ◆「外国語演習 S」「外国語演習 D」 「関連課題研究 S」 「関連課題研究 D」 *履修希望者が多い場合は担当教員による選抜を行い、商学部生が優先されます。
日吉	文学部	なし	<ul style="list-style-type: none"> ◆履修不可科目 (1)必修語学科目 (文学部履修案内参照) (2)特論科目すべて <ul style="list-style-type: none"> ・人文科学特論 (4 単位) ・人文科学特論 I (2 単位) ・人文科学特論 II (2 単位) ・社会科学特論 I (2 単位) ・社会科学特論 II (2 単位) ・自然科学特論 I (2 単位) ・自然科学特論 II (2 単位) ◆文学部 1 年優先科目 (3)総合教育セミナー <ul style="list-style-type: none"> ・総合教育セミナー I (2 単位) ・総合教育セミナー II (2 単位) ◆配当学部優先科目 (4)その他 <ul style="list-style-type: none"> ・人の尊厳 (2 単位)
		なし	なし

地区	学部	制限科目
日吉	経済学部	<ul style="list-style-type: none"> ◆基礎教育科目の必修科目 ◆外国語科目の必修科目、選択必修科目 ◆専門教育科目の必修科目 *ただし履修者数が多い場合やクラスが指定されている場合は、経済学部生優先となる科目もあります。
		<ul style="list-style-type: none"> ◆必修外国語科目 【法律学科】 ◆全ての必修科目 「法学 I (憲法を含む)」 「法学 II (憲法を含む)」 「憲法 (総論・人権) I」 「憲法 (総論・人権) II」 「民法 (総論) I」「民法 (総論) II」 「刑法 (総論) I」「刑法 (総論) II」
	法学部	<ul style="list-style-type: none"> 【政治学科】 ◆全ての必修科目 「社会学」 「法学 (憲法を含む)」 「経済原論 I」「憲法」「経済原論 II」 「政治学基礎 I」「政治学基礎 II」 「政治思想基礎」「日本政治基礎」 「地域研究・比較政治基礎」 「国際政治基礎」 *ただし履修者数が多い場合やクラスが指定されている場合は、法学部生優先となる科目もあります。
	商学部	<ul style="list-style-type: none"> ◆必修外国語科目 (2005年度以降入学者用カリキュラム) ◆必修科目 「経済学基礎 I・II」「微積分 I・II」 「統計学 I・II」 ◆基礎科目・専攻科目・総合教育科目 「基本簿記と財務諸表の見方」 「社会経済学 I・II」 「経済学 I・II」 「情報リテラシー基礎」 「社会との対話 D・S」 「データとの対話 D・S」 (2004年度以前入学者用カリキュラム) ◆必修科目「経済学」「商学概論」 ◆基礎科目・専攻科目・総合教育科目 「簿記論」「情報処理 I・II」 「社会経済学」 「理論経済学 I」「社会との対話 D・S」 *ただし上記以外の科目でも履修者数が多い場合やクラスが指定されている場合は、商学部生優先となる科目もあります。
医学部	<ul style="list-style-type: none"> 全科目不可 *基礎科学必修科目のうち講義科目について、科目担当者の判断により履修を許可する場合があります。(上限あり。講義要綱・シラバス参照) 	

地区	学部	制限科目	
日吉	理工学部	<ul style="list-style-type: none"> ◆必修科目 ◆実験科目 (必修または選択) ◆演習科目 (必修または選択) ただし教職に必要な場合に限り、科目担当者と学習指導が判断し、履修許可する場合があります。 科目の履修にあたり、理工学部への所定用紙提出が必要となりますので、履修希望者は http://www.gakuji.keio.ac.jp/hiyoshi/rikou/index.html を必ず参照し、所定の手続きをしてください。 	
		薬学部	<ul style="list-style-type: none"> ◆なし *ただし、科目担当者の許可を得ること。
	矢上	理工学部	<ul style="list-style-type: none"> ◆なし 科目ごとではなく、履修希望学生の学力や、学習環境をもとに、科目担当者と学習指導副主任が判断し、履修許可します。 科目の履修にあたり、理工学部への所定用紙提出が必要となりますので、履修希望者は http://www.gakuji.keio.ac.jp/yagami/rikou/rikougakubu_igai.html を必ず参照し、所定の手続きをしてください。
		総合政策学部・環境情報学部	<ul style="list-style-type: none"> ◆卒業プロジェクト 1 ◆卒業プロジェクト 2 ◆卒業制作 ◆心身ウェルネス ◆体育 1 ◆体育 2 ◆体育 3 ◆英語基礎 1 ◆英語基礎 2 ◆外国語インテンシブ ◆外国語ベーシック
信濃町	看護医療学部	<ul style="list-style-type: none"> ◆実習科目 ◆以下の講義・演習科目 「生活援助技術」「医療支援技術」 「看護基本技術」「在宅看護技術」 「臨床看護学技術演習」 「急性期看護学演習」 「慢性期看護学演習」 「小児看護学演習」「精神看護学演習」 「終末期看護学演習」 「助産理論」「助産技術」 ◆その他の科目は、科目担当者が許可すれば履修可 	
	医学部	全て不可	
	薬学部	<ul style="list-style-type: none"> ◆実習科目 ◆その他の科目は、科目担当者が許可すれば履修可。 	

※最新情報を必ず以下の URL で確認してください。

<http://www.gakuji.keio.ac.jp/academic/rishu/tagakubu.html>

(8) 3.5年早期卒業制度

総合政策学部・環境情報学部の定める卒業要件を満たしたうえで、優秀な学業成績など優れた成果を挙げた者に対して3.5年（7学期）在学すれば卒業できる制度です。

9月入学者の4月就職、4月入学者の海外大学院進学などを支援することを目的としています。

対象者

2010年4月以降に第1学年として入学した者（9月入学者は2010年9月以降）を対象とします。

申請手続き・要件

第3学年1学期修了時に、以下3つの要件をすべて満たしている必要があります。

- 1 母国語以外の外国語のひとつについて以下の表で示される外国語検定試験の基準を満たしていること。
 - 2 96単位以上（自由科目は含まない）を取得済みであり、当該学期までに取得したすべての単位（自由科目を含む）について、下記の★計算方法により2.3以上であること。
 - 3 「研究会A」または「研究会B」を2学期以上履修し、かつ、「研究プロジェクト科目」について、下記の★計算方法により2.5以上であること。
- ただし、1、2の要件については、学会発表など、顕著な研究成果を挙げた場合は、要件を満たしていなくても申請が認められる場合がある。

※顕著な研究成果は以下の3点のいずれかとなります。詳細については事務室学事担当まで確認してください。

- ① 査読ありのジャーナル論文を執筆していること
- ② 学術書の執筆者となっていること
- ③ 認知されたコンテストで上位入賞をしていること

3.5年早期卒業要件

申請要件とあわせて、以下3つの要件をすべて満たすと、卒業となります。

- 1 総合政策学部・環境情報学部が定める通常の卒業要件を満たすこと。
- 2 「卒業プロジェクト1」および「卒業プロジェクト2」の評語がともにAであり、かつ、「研究プロジェクト科目」について、下記の★計算方法により2.7以上であること。
- 3 以下の1つ以上に該当すること。
 - ① 母国語以外の外国語のひとつについて以下の表で示される外国語検定試験の基準を満たしていること。
 - ② 慶應義塾大学大学院に合格していること。
ただし、大学院入学予定時期が、学部卒業の翌学期である場合に限る。

【★計算方法】

$$\{ (\text{評語がAの科目の合計単位数} \times 3) + (\text{評語がBの科目の合計単位数} \times 2) + (\text{評語がCの科目の合計単位数} \times 1) + (\text{評語がDの科目の合計単位数} \times 0) \} \div \text{取得単位数}$$

※自由科目、留学等で単位認定された科目を含む。ただし、評語がP、F、Gの科目は含めない。小数第2位以下を切り捨てます。

語種の基準

語種	外国語検定試験	申請時	卒業判定時
英語	TOEFL(PBT)(SFC実施のTOEFL-IPTを含む)	550点以上	580点以上
朝鮮語	ハングル能力検定試験	3級	準2級
	韓国語能力試験	3級	4級
中国語	中国語検定	3級	2級
	漢語水平考試 (HSK)	5級	6級
マレー・インドネシア語	インドネシア語検定	C級	B級
アラビア語		インテンシブ2修了相当 以上で個別に判断	スキル2科目以上修了レベル で個別に判断
ドイツ語	CEFR ※	能力B 2	能力C 1
	Goethe-Zertifikat	B 2	C 1
	オーストリア政府公認 ドイツ語能力検定試験 (ÖSD)	B 2 Mittelstufe Deutsch	C 1 Oberstufe Deutsch
	ドイツ語技能検定試験	準1級	1級
フランス語	CEFR ※	能力B 2	能力C 1
	フランス文科省認定 フランス語資格試験 (DELF/DALF)	B 2	C 1
	フランス文科省認定 フランス語テスト (TCF)	400 - 499 点	500 - 599 点
	実用フランス語技能検定試験	準1級	1級
スペイン語	スペイン語技能検定	3級	2級
	スペイン政府公認 スペイン語検定 (DELE)	初級	中級
日本語	日本語能力試験	1級	1級

※ CEFR は Common European Framework of Reference for Languages: Learning, Teaching, Assessment (「諸言語の学習・教授・評価のためのヨーロッパ共通参照枠」) を指します。

(9) 飛び入学制度

政策・メディア研究科へは学部3年修了後、または学部4年1学期目修了後、大学院1年生への入学も可能です。課題の発見、解決のためのプロセスが学部の最初の段階から大学院修了まで一貫して継続されており、それを実現するためのカリキュラム構成がとられているためです。また、修士課程を1年で修了することのできる制度もありますので、最短で学部入学から4年間で修士号を取得することも可能です。

出願については所定の条件を全て満たす必要があります。詳細は出願時の政策・メディア研究科入試要項を必ず確認してください。

なお、参考までに2011年度実施入試における出願資格の概要を掲載します。

- a. 政策・メディア研究科入学時までには大学学部在学期間が3年間以上であること
- b. 入学時までには90単位以上修得見込であること（卒業に必要でない自由科目等の単位数は含まない）
- c. 出願直前学期までに60単位以上修得済みであること（卒業に必要でない自由科目等の単位数は含まない）
- d. 出願直前学期までに修得した単位について、以下の①または②のいずれかに該当すること（卒業に必要でない自由科目等の単位数も全て含める。ただし、合否のみが判定される科目の単位数は含まない）
 - ①修得した単位の3分の2以上が在学する大学の学業成績における評語の最高点であること
 - ②次のいずれかに該当すること
 - ・在学6学期目に出願する場合、在学する大学の学業成績における評語の最高点を80単位以上修得していること
 - ・在学7学期目に出願する場合、在学する大学の学業成績における評語の最高点を96単位以上修得していること

大学院に飛び級で入学する場合は入学前に学部を退学する必要がありますが、大学評価・学位授与機構に学士の学位を申請することができます。

大学評価・学位授与機構のホームページ (<http://www.niad.ac.jp/>)

(10) 教職課程

教員免許を取得しようと考えている学生は、「教職課程」を履修しなければなりません。三田キャンパスにある「教職課程センター」が、教職課程履修者の指導に当たっています。

毎年、年度初めに教職課程の履修を希望する学生を対象に実施している各種ガイダンスに出席し、教職課程履修案内を熟読の上で履修してください。

SFCで取得できる教員免許状の種類および教科は、以下のとおりです。

総合政策学部	総合政策学科	中学校 1種	社会
		高等学校 1種	公民
環境情報学部	環境情報学科	高等学校 1種	情報

① 履修申告

春学期にすべての科目を履修申告してください。また、原則として春学期に履修申告した科目を秋学期に履修削除することはできません（SFC学部の履修ルールと同様の扱いとする）。

② 総合教育科目

教育職員免許法施行規則には「教員として必要な幅広く深い教養」を身につけることが規定されています。

しかし、教員免許取得のためには、特に、次の単位が必修となっていますので注意してください。

a. 「日本国憲法」必修

SFCでは、「憲法（人権）」＋「憲法（統治）」がこれに当たります。

b. 「体育」2単位必修

SFCでは、「体育1（実技・講義）」、「体育2（実技・講義）」、「体育3（実技・講義）」のうち2単位分がこれに当たります。

c. 「外国語コミュニケーション」2単位必修

SFCでは、創造技法言語コミュニケーション科目がこれに当たります。

d. 「情報機器の操作」必修

SFCでは「論理思考とプログラミング」もしくは「コンピュータ基礎とプログラミング」がこれに当たります。

③ 事務取扱窓口

質問内容	窓口
履修申告※	学事担当 ※クラス分け科目についての質問のみ、 CDPオフィス
成績、進級・卒業条件	
休講、補講、時間割変更	
証明書	CDPオフィス
教職課程登録	
教職課程ガイダンス	
介護等体験	
実力テスト	
教育実習	
教職免許一括申請	
その他不明な点	

(11) 鶴岡タウンキャンパス (TTCK)の授業	<p>山形県鶴岡市に慶應義塾大学鶴岡タウンキャンパス (TTCK) があります。TTCKには先端生命科学研究所 (Institute for Advanced Biosciences) が設置されており、2010年に開設10年目を迎えました。この研究所ではゲノム工学、細胞代謝工学などの先端実験科学に、ゲノムのコンピュータ解析や細胞シミュレーションなどのIT技術を合体させ、世界に先駆けて21世紀型の生命科学を展開しています。 http://www.ttck.keio.ac.jp/</p> <p>2学期間 (または1学期間) 鶴岡キャンパスに滞在し、バイオテクノロジーの基礎を体験できます。実験経験の全くないSFC学生を対象とし、まず実験器具の取り扱い方の初歩から初めます。実践的な実習では、細胞内の遺伝子、タンパク質、代謝物質などの様々な対象を探究する技術を修得します。自分自身のDNA配列を解読する実習もあります。</p> <p>21世紀はバイオとITの時代と言われながらも、実際にこのような経験ができる機会は、一生でこれが最初で最後かもしれません。</p> <p>TTCKにて開講されている授業科目 (遠隔授業を除く) は、バイオキャンプに参加している学生のみが履修申告できます。</p>
① 開講科目について	<p>鶴岡キャンパス開講科目はSFCの正式な授業です。休学することなしに、TTCKに通学しながら卒業に必要な単位を取得できます。開講科目・開講場所などは、講義概要およびシラバスにて確認をしてください。</p> <p>山形大学農学部の科目 (SFCの科目として単位認定可能: 他学部他大学60単位上限に含む) を科目等履修生として履修する場合、履修に先だって、詳細をSFC事務室学事担当窓口にお問い合わせください。</p> <p>各学期の履修上限単位は20単位ですが、必ずしも20単位を履修できることを保証はしていません。TTCKで開講している科目 (遠隔でも可) のみ履修可能となります。すなわちTTCKで授業を受講することで、半年あるいは、1年間外国語を履修できません。また、環境情報系科目の開講がほとんどです。取得単位についてよく考慮した上で参加申し込みをしてください。</p>
② 参加募集等	<p>原則として、当該学期に在籍する学生が参加できます。</p> <p>募集は、参加する直前の学期の5月中旬・10月中旬に行います。参加希望の学生は、2012年度秋学期参加希望の場合は5月末日、2013年度春学期参加希望の場合は11月末日までに申込手続きを行ってください。詳細はSFC事務室学事担当窓口にお問い合わせください。</p> <p>参加希望者の中から15名程度にバイオキャンプ奨励金を給付します(③、④参照)。奨励金受給者とならなかった場合も、鶴岡キャンパス周辺に滞在し鶴岡キャンパス開講科目を履修できる場合がありますので担当教員と相談してください。</p>
③ 研修棟 (学生寮)	<p>バイオキャンプ奨励金受給者には、ログハウス風の研修棟 (学生寮) を完備しています。バス・トイレ・LAN付の個室です。ここを利用できる学生の人数には限りがあります。</p>
④ 費用について	<p>バイオキャンプ奨励金受給者の実習費用、研修棟利用料等は、先端生命科学研究所から奨励金として補助されます。</p>
(12) AUD科目履修と 一級建築士受験資格	<p>【2009年度以降の入学者のみ対象】</p> <p>2008年11月の建築士法の改正に伴い、2009年度より一級建築士の受験資格取得のための学歴要件が変更され、環境情報学部、総合政策学部で指定された科目の中から各項目における必要単位数を満たし、合計60単位を修得した者は、大学卒業後2年間の実務経験の後、一級建築士受験資格を得ることができます。</p> <p>以下に掲載の指定科目に該当する開講科目一覧にしたがって履修してください。建築士試験別、指定科目に係る必要単位数と必要な建築実務の経験年数も以下の一覧に従ってください。詳細は別途説明会を行います。日時、場所は掲示にて周知します。</p>

開講科目一覧

指定科目の分類	開講科目	単位数	小計
①建築設計製図	応用環境デザイン（建築とランドスケープのデザイン）	4	32
	応用環境デザイン（都市環境のデザイン）	4	
	応用環境デザイン（グリーン・アーキテクチャ・デザイン）	4	
	応用環境デザイン（総合）	4	
	空間とデザイン	4	
	デザインスタジオ（住まいと環境）	4	
	デザインスタジオ（都市と建築）	4	
	デザインスタジオ（自然と建築）	4	
②建築計画	都市デザイン論	2	8
	環境の変遷	2	
	都市と建築の歴史	2	
	建築設計と環境デザイン	2	
③建築環境工学	建築環境制御論	2	2
④建築設備	環境空間論	2	2
⑤構造力学	環境の力学	2	4
	構造のデザイン	2	
⑥建築一般構造	建築技術論	2	4
	ビルディングエレメントデザイン	2	
⑦建築材料	建築構成論	2	2
⑧建築生産	建設マネジメント論	2	2
⑨建築法規	都市空間の構成	2	2
⑩その他	ランドスケープデザイン	2	26
	デザインスタディーズ	2	
	都市と地域の未来	2	
	都市空間設計と情報技術	2	
	都市と環境	2	
	都市空間の再設計	2	
	意匠設計	4	
	まちづくり論	2	
	地域環境論	2	
	都市政策	2	
	デザイン言語ワークショップ（建築・都市）	2	
	都市システム論	2	

建築士試験別、指定科目に係る必要単位数と必要な建築実務の経験年数

指定科目	一級建築士試験			二級・木造建築士試験		
	7単位	7単位	7単位	5単位	5単位	5単位
①建築設計製図	7単位	7単位	7単位	5単位	5単位	5単位
②建築計画	7単位	7単位	7単位	7単位	7単位	7単位
③建築環境工学	2単位	2単位	2単位			
④建築設備	2単位	2単位	2単位			
⑤構造力学	4単位	4単位	4単位	6単位	6単位	6単位
⑥建築一般構造	3単位	3単位	3単位			
⑦建築材料	2単位	2単位	2単位			
⑧建築生産	2単位	2単位	2単位	1単位	1単位	1単位
⑨建築法規	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位
①～⑨の計 (a)	30単位	30単位	30単位	20単位	20単位	20単位
⑩その他 (b)	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
(a) + (b)	60単位	50単位	40単位	40単位	30単位	20単位
必要な実務経験年数	2年	3年	4年	0年	1年	2年

VIII. 試験とレポート

(1) 定期試験

定期試験（学期末試験と呼ぶこともあります）は春学期末（7月下旬）と秋学期末（1月下旬～2月上旬）に行われます。試験の時間割や注意事項は、掲示により発表されますが、試験実施の曜日、時間、教室などは平常の授業と違う場合がありますので注意してください。

定期試験を受験する際は、学生証を必ず携帯し提示してください。学生証を紛失した場合などは、早めに再発行してください。試験当日に万一学生証を携帯しなかった場合は、事務室学事担当窓口で必ず仮学生証（発行当日限り全キャンパスで有効、図書館入館も可）の交付を受けてください。学生証または仮学生証を携帯せずに試験教室に入室することは一切認められません。仮学生証発行手続により、試験教室への入室が遅れても試験時間の延長はありません。

試験問題の配布後は、試験終了まで一切教室から退室することは認められません。遅刻が無制限に認められているため、遅刻者等に問題が漏洩する可能性を無くすために、途中退室は禁止されています。

一度試験問題を見た後は、いかなる理由であっても当該科目の追加試験は受けられません。また、遅刻して受験した場合、いかなる理由であっても試験時間の延長は認められません。

当該科目の受験者以外の者が受験会場を間違えて入室していた場合、問題を配布後に気づいても、無断退室できません。また、試験時間内に体調不良で途中退室せざるを得ない場合は、必ず試験監督者に申し出て、試験本部の指示に従ってください。**無断で途中退室した場合は、不正行為（当該学期の履修科目は全てD）とみなされます。**

(2) 追加試験

追加試験（追試と呼ぶこともあります）は、病気などやむを得ない理由で定期試験を受けられなかった者に対して春学期は8月上旬、秋学期は2月上旬に行われる試験です。定期試験期間以外に試験が行われた科目、レポートや平常点により採点される科目の追加試験は行いません。

追加試験の受験を希望する場合は、定期試験を受けられなかった理由がわかる公的証明書等が必要です。手続き方法等の詳細については定期試験時間割発表時に掲示にてお知らせします。

なお、他学部科目は、申し込み受付期間に、科目が設置されているキャンパスの学生部（矢上は学生課）で手続きをしてください。

追加試験を受験できない場合、再度の追加試験はありません（受験料の返却はできません）。

- ・病気、けが（要診断書—当該科目の試験日が含まれているもの）
- ・電車の遅延（要遅延証明書） *面接、受験料ともに不要
なお、大規模な公共交通機関の遅延が発生しているような場合、試験時間そのものをずらすこともあるので、まず、受験の努力をしてください。
- ・3親等以内の肉親の葬式（要会葬礼状等） *法事、結婚式は不可
- ・肉親の重大な病気・けが（要対象者の診断書）
- ・他キャンパスの定期試験科目との重複（他キャンパスの定期試験を優先し、総合政策学部・環境情報学部設置科目は、追加試験を申し込んでください。） *面接、受験料ともに不要
- ・最終学年の就職活動（採用選考の一環であるものに限る）に関しては、事前に事務室学事担当窓口にご相談してください。
- ・その他、学習指導がやむを得ないと判断したもの
学習指導は、資料をもとに、本当に受験が不可能な状態であったか、総合的に判断します。

なお、アルバイト、ボランティア活動、各種大会出場などは追加試験許可の理由としては認められません。

(3) 不正行為

試験、レポートにおいて不正行為があった場合、教授会の定めるところにより厳しく処分されます。また、処分については実名による掲示を行います。定期試験、期末レポートの場合は、当該学期、全科目の単位の取得を認めません。あらゆる試験（授業内試験・小テスト等も含む）、あらゆるレポートおよび卒業プロジェクト・卒業制作についても同等の処分を行うことがあります。厳粛な態度で臨んでください。

試験中、他の学生と会話や物品のやりとりをする、持ち込みが許可されていない資料や本、電子機器類などの物品が見えたり、試験中取り出しやすい場所にある、当該学期の成績表が届く前にレポートを外部のWebに公開するなど、不正と紛らわしい行為も厳に慎んでください。

(4) レポート

プリントアウトや交通機関利用時のトラブルなども勘案し、時間に余裕を持って提出するようにしてください。

なお、レポートの1ページ目には、下の「レポートヘッダー」の項目を記載してから、本文を作成してください。

レポートヘッダー項目：

提出日付：●●●●●

授業科目名：●●●●● 担当者名：●●●●●

レポート課題：●●●●●

学部 学年：●● ログイン名：●●●●●

学籍番号：●●●●● 氏 名：●●●●●

① レポート課題提出

レポート課題の提出は以下の方法があります。

- ① 授業内での提出
- ② 研究室への提出
- ③ SFC-SFS での提出
- ④ 学事担当窓口 レポート回収ボックス への提出

提出方法については各担当教員の指示に従ってください。

② 参考文献引用等

レポートの作成は、講義を理解し知識や問題解決の能力を身につける上で欠かせないものです。また、講義に対する理解度を教員が正しく評価し、成績を判断するための重要な要素です。したがって、レポートの作成にあたっては、定期試験と同様に不正な行為があってはなりませんし、その場合には厳しく処分されます。（**期末レポートの場合は当該学期の履修科目は全てDとなり、あらゆるレポートについても同等の処分を行うことがあります。**）

教員が学生のみなさんの理解度や達成状況を公平に正しく把握できるよう、レポートの作成にあたっては次の事項を注意してください。

○課題の指示を十分に把握する

レポート課題では、レポートの作成にあたってどのようなことについて書くかの指示があることが通常です。課題によっては文献の調査が主で、いろいろな文献を調べなければならないものもあるでしょうし、反対に独自の発想を主体に述べるようなものもあります。求められている内容、意図を理解してレポートを作成するようにしましょう。

○盗用、盗作をしない

あたりまえのことですが、レポートは自分の力で作成し、それによって評価されるものです。したがって他の人の書いた文章等を引用する場合は、その旨をきちんと断らなければなりません。そのような断りがなされていない場合、レポートを作成した人自身が作り出した内容だとして評価するのが前提です。したがって、**断りなしに他人の成果を記載することは、不正行為にあたります。**このような不正行為を避けるためには、**正しく参考文献や資料を明記しなければいけません。**

○参考文献・
資料等の記載方法

参考文献、資料等は読む人がわかるように記載しましょう。レポートの最後にまとめて記載する方法と、章ごとの終りに記載する方法が一般的です。

単行本：

著者『書名』、出版地：出版社、出版年。

例) 村井純『インターネット新世代』、東京：岩波書店、2010。

雑誌記事、学術論文：

著者「論文名」、『雑誌名』巻次、出版年、ページ。

例) 国領二郎「組織と混沌」、『組織科学』Vol. 43, No. 14, 2009, p. 29-42。

新聞記事：

著者（わかる場合）「記事タイトル」、『新聞名』、朝夕刊、版（地方版名など）、発行日、発行地：発行機関、掲載面。

例) 「地域発展で連携、SFCと藤沢市が協力協定 大学近くに宿泊施設計画」『朝日新聞』、朝刊、湘南・1地方、2009年10月20日、東京：朝日新聞社、31面。

Web ページ：

著者・発行者「文書名」、URL（閲覧日：日付）。

例) 慶應義塾大学湘南藤沢メディアセンター「ガジェット/フィード」
<http://www.sfc.lib.keio.ac.jp/gadget/>（閲覧日：2010年6月23日）。

放送作品等：

制作者（わかる場合）『タイトル』、放送局名、放送年月日。

例) 『爆笑問題のニッポンの教養：FILE077 U.S. I LOVE YOU』、NHK 総合、2009年6月30日。

映画、音楽作品等：

作者/監督名など『タイトル』、出版者名、制作年（必要な場合はメディア、分数なども記載）。

例) 滝田洋二郎監督『おくりびと』、セディックインターナショナル（発売元）/小学館、2009。
金森誠監督『還暦野球』2005年、DVCAM、30分。

美術作品等：

作者《作品の題名》制作年、（必要な場合はメディア、サイズなど）現存地/所蔵者。

例) 会田誠《あぜ道》1991年、パネル、和紙、岩顔料、アクリル絵具、73x52cm、豊田市美術館所蔵。

これらの記述方法は一例にすぎません。研究会等での指定がある場合はそちらを参照のこと。

参考：

佐藤望編著「アカデミック・スキルズ ー大学生のための知的技法入門」、東京：慶應義塾大学出版会、2006。

慶應義塾大学メディアセンター「KITIE」“情報を活用する”

<http://project.lib.keio.ac.jp/kitie/>

※レポートの書き方、引用・参考資料についての相談窓口

メディアセンター2階のレファレンスデスクに相談してください。

[相談時間] 平日9:15～17:00

○レポート文中での引用、参考の仕方

レポート文中で、参考資料の文章等をそのまま記載する場合には、引用だということがはっきりとわかるように、引用符『』で囲ったり、長い場合には、字下げした段落を設け、その後ろに引用のマーク（引用文献リストの文献番号など）を記載する必要があります。

また、そのままの引用でない場合も、「文献〇×では、〇〇〇と主張されているが、…」のように、文献や資料の内容に基づいていることがわかるようにしましょう。

○引用、参考資料を記載する必要がない場合

歴史的事実や常識、科学的な事項などの一般的に知られていることに関しては、参考資料を記載する必要はありません。しかしながら、次のような場合には、他人の考えや成果物を引用していないかどうかをよく考えてから参考資料や文献の明示を考えましょう。

- ・ 歴史的事実を並べたものでも、年表のように、作者の考え方や意図によって事項が選択されているものをそのまま記載する場合。
- ・ 事実の情報であっても、統計情報やデータとしてまとまっていて、それをそのまま使う場合。

○謝辞

レポートを書くにあたって意見を聞いた、あるいは相談した人を挙げましょう。

Ⅳ. 成績

(1) 学業成績

① 通知

春学期は9月中旬、秋学期は3月中旬に保証人宛に「学業成績表」を郵送します。いかなる理由があっても再発行できませんので、取り扱いには十分注意してください。次学期の履修計画を立てる上で必要となりますので、保証人より速やかに受け取り、学習計画に役立ててください。SFC-SFSにログインすれば、keio.jpのIDとパスワードのみで学業成績表の閲覧ができます。

成績証明書に取得した科目の成績が記載されるのは、翌学期以降となります。

② 成績質問制度

「学業成績表」の評語は確定したのですが、評語に対して確固たる根拠をもって問い合わせをしたいと考える者は、以下の通り手続きをしてください。**この制度を利用せずに担当教員に直接質問できません。**

A. 必要書類

- a. 学生証
- b. 学業成績表
- c. 当該科目のシラバスのプリントアウト
- d. 1科目につき80円切手2枚
- e. 所定の「成績質問用紙」(事務室学事担当窓口で配付)

B. 受付期間

保証人に送付する「学業成績表」に同封されている書面で確認してください。

C. 受付場所 事務室学事担当窓口

D. その他

質問内容については、学習指導主任の承認を得てから、科目担当教員に問い合わせをし、回答があり次第、返信します。**なお、質問内容によっては学習指導主任の承認を得られない場合があります。**

③ 卒業発表

Webにて行います。

(2) 学業成績表の見方

① 成績評価

学業成績の評価は通常A、B、C、Dの4段階で示されます。A、B、Cは合格、Dは不合格です。評価のガイドラインは次のとおりです。

- A………特に優秀な者(成績最上位20%程度)
- B………優秀な者
- C………合格ラインに達している者
- D………合格ラインに達していない者

このほか、科目によっては、P、Fの評語を設け、Pを合格、Fを不合格とする場合や、海外留学など他大学等で履修した授業科目を、G(認定)とする場合があります。「数学基礎」「囲碁」はP/Fの評語を使用しています。

履修申告をした科目を学期途中で放棄した場合は、不合格のDまたはFがつきます。

② 判定欄

進 級 ……次学年に進級する者

保 留 ……追加試験の結果により判定が決定する者

原級(留学)……学則による「留学」が認められた者で、今学期は進級の対象とはなりません。

原級(休学)……学則による「休学」が認められた者で、今学期は進級の対象とはなりません。

原 級 ……取得単位数不足のため現在の学年に留まります。

空 欄 ……今学期は進級判定の対象とはなりません。

X. 休学・退学・留学

(1) 休 学

① 「休学願」の提出

休学は学期（春学期・秋学期）ごとの申請となります。

事務室学事担当窓口で交付する所定の「休学願」に本人・保証人の自署・押印の上、学部学習指導担当教員との面接後、事務室学事担当窓口に提出してください。本人と保証人の筆跡・印鑑が同一である場合は受理できません。「休学願」の提出後、電話にて保証人の意志確認を行います。

病気・怪我の場合は医師の診断書、語学等留学の場合は受入許可証が必要です。休学した学期は進級や卒業に必要な在学期間には算入されません。休学が次の学期に継続するときには、改めて申請が必要です。

	提出期限	休学期間
春学期	5月末日（必着）	4月1日から9月21日
秋学期	11月末日（必着）	9月22日から3月31日

② 学習指導担当教員との面接

「所属学部の学習指導担当教員」（A館の掲示またはSFC公式ウェブサイト参照）に各自で連絡のうえ面接を受け、承認印を受けなければなりません。

③ 就学届

復学する際は、速やかに所定の「就学届」を提出してください。「就学届」は各学期成績表送付時に保証人宛に同封いたします。

なお、病気・怪我による休学から復学する場合は、医師による快復した旨の診断書が必要です。

④ 学 費

【2009年度以降第1学年入学者以外】

休学期間中の学費は全額納入しなければなりません。以下の対象者は、授業料等を減免することができます。

- ① 減免を受けようとする者は、1年以上の長期にわたり入院または通院している者ならびに自宅療養をしている者で、休学の2年目以降の者でなければならない。
- ② 母国において兵役義務、または地震・台風等の大規模な自然災害（激甚災害）の影響により休学する者。この場合に限り1年目から減免する。
（「慶應義塾大学授業料等減免規程」第2条（対象）より抜粋）

【2009年度以降第1学年入学者】

取り扱いは、次のとおりとなります。

- 1 入学から1年間を除く休学期間中は授業料および実験実習費（以下「授業料等」という。）を免除する。
- 2 本大学での学習を奨励するため、入学から1年間の学費は全額納入させることとする。なお、休学理由が次に該当すると認められた場合は、入学から1年間についても「授業料等」を免除することができるものとする。
（ア）母国における兵役義務により休学を認められた場合。
（イ）正課または課外活動中の事故による傷害で休学を認められた場合。
（ウ）地震・台風等の大規模な自然災害（激甚災害）の影響により休学を認められた場合。
（「休学期間中の学費の取り扱いに関する規程」第3条より抜粋）

⑤ 健康診断について

春学期休学のために4月に実施される健康診断を受診できなかった場合は、9月のガイダンス期間中に実施される9月入学生のための健康診断を受診してください。

(2) 退 学

① 「退学届」の提出

所定の「退学届」(事務室学事担当窓口で配付)に本人・保証人の自署・押印の上、学生証とともに事務室学事担当窓口へ提出してください。本人と保証人の筆跡・印鑑が同一である場合は受理はできません。「退学届」の提出後、電話にて保証人の意思確認を行います。なお、退学届を郵送された場合は、本人の意思確認も行います。

退学年月日は、授業料が全納されている場合、本人の希望日となります(通常は春学期末9月21日、秋学期末3月31日)。学期末以前の場合は、当該学期の取得単位は抹消されます。

② 処分退学
【学部学則第156条・第188条】

【学部学則第156条(抜粋)】 2007年度以降入学者用

① (省略)

② (前略) 総合政策学部および環境情報学部では、同一学年に4学期以上在学し、進級および卒業し得ない者は退学させる。

【学部学則第156条(抜粋)】 2006年度以前入学者用

① 同一学年に2年在学し、なお進級し得ない者並びに同一学部に8年在学し卒業し得ない者は退学させる。

② 前項の規定にかかわらず、総合政策学部・環境情報学部では、第1学年に4学期在学し第2学年に進級し得ない者、第2学年に4学期在学し第3学年に進級し得ない者、第3・第4学年併せて8学期在学し卒業し得ない者は退学させる。

【学部学則第188条】

この学則若しくはこれに基づいて定められた学内諸規則に違反し、または学業を怠り、気品を害ね、その他学生としての本分にもとる行為のあった者については、懲戒として情状により譴責、減点、停学または退学の処分をする。ただし、懲戒退学は、次の各号の一つに該当する者に対してのみ、これを命ずるものとする。

- 1 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
- 2 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
- 3 正当な理由がなくて出席常でない者
- 4 大学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

(3) 留 学

毎年90校を越える外国の大学との間で学生交換を実施しています(塾派遣交換留学制度)。これは義塾と協定大学とが双方の在學生に、1年間外国の大学生生活を経験する機会を提供し、国際交流を推進し、国際感覚の育成と視野の拡大を目指そうとするものです。

SFCからは毎年30名を越える学生が交換留学で、毎年数名の学生が私費により留学しています。語学留学は、通常休学扱いとなります。

留学を希望する場合は、事務室で配布している「留学のてびき」をよく読み、学内で開催される「留学説明会」等にも参加するようにしてください。

<学費>

2009年度以降入学	<p>【入学1年目】 学費は免除されません。</p> <p>【入学2年目以降】 私費留学の場合は、授業料と実験実習が免除されます。交換留学(ダブルディグリー含む)の場合、原則として減免制度はありません。ただし、学費の相互免除が含まれない交換留学については、研究会費・自治会費等の代理徴収費用を除き、学費を免除します。</p>
2008年度以前入学	私費留学の場合、留学を許可された学期の属する年度の授業料と実験実習費について各学期において半額を免除します。交換留学の場合は、学費は免除されません。

<留学前の手続きについて>

学内において「留学」の認定を受けるためには、遅くとも出発の2か月前までに「国外留学申請書」を提出し、教授会の承認を受ける必要があります。詳細は「留学のてびき」またはSFC事務室学事担当窓口で確認してください。

留学の種類に関係なく留学許可が得られた時点で、留学後には留学期間が在学期間に算入されることを想定し、進級・卒業条件、単位取得状況を必ず確認してください。また、第4学年1学期目が留学期間に含まれる場合には、「卒業プロジェクト1」について学事担当窓口で必要な手続きを行わなければなりません。

<留学後の手続きについて>

帰国後、所定の「就学届」をSFC事務室学事担当まで提出してください。

【外国科目認定並びに在学期間算入申請について】

留学期間を在学期間に算入（1年間を限度とする）する手続きを行います。

原則、承認された留学期間（1学期間または2学期間）が在学期間として算入されます。算入する留学期間を選択することはできません。

外国科目認定用紙と以下の資料を留学中から準備し、帰国後1ヶ月以内に提出してください。留学先で履修したすべての科目（DROP, WITHDRAWAL 含む）について、申請しなければなりません。

- (a) 外国科目認定用紙（SFC公式ウェブサイトよりダウンロードできます）
- (b) 成績証明書（成績表）
- (c) 講義要綱・シラバス
- (d) 授業内容の記録・学事日程・履修案内・時間割・テキスト・ノート・レポート等

①留学先で修得した単位は、在学中2学期分（1学期間算入の場合、上限20単位、自由科目を含めて30単位）まで、他学部等設置科目または自由科目（認定科目名は留学先で修得した科目名）として認定します。

認定単位数の最低講義時間数条件は以下のとおりです。ただし、実験・実習・演習科目は講義科目の半分の時間数として扱われます。留学先の大学が設定している単位数と、慶應義塾大学が認定する単位数が異なる場合がありますので、必ず、講義時間数を確認してください。講義時間数は、公式のシラバスに記載された情報に基づいて計算します。実際の講義時間数がシラバスと異なっている場合には、担当教員等からそのことを証明する書類の提出が必要となります。詳細は学事担当窓口で確認してください。

- 1単位 60分×15回＝900分以上
- 2単位 90分×15回＝1,350分以上
- 3単位 90分×15回×1.5＝2,025分以上
- 4単位 90分×15回×2＝2,700分以上

②外国語科目については、SFCで開講されている語種は取得済の科目のレベルよりも高いと学習指導が判断した場合のみ、他学部等設置科目として卒業に必要な単位として認定されることがあります。取得済科目と同等またはそれよりもレベルが低いと判断した場合は、自由科目として認定されます。単位数に関しては、留学先の授業レベルやSFCで取得済みの外国語科目によって、講義科目の半分の時間数として扱われる場合があります。開講されていない語種については他学部等設置科目として卒業に必要な単位として認定されることがあります。いずれの場合も自由科目での認定は可能です。

③ウェルネス科目は自由科目としてのみ認定されることがあります。

④評価は、単位を修得したすべての科目について「G」で認定されます。修得できなかった科目（DROP, WITHDRAWAL等）は、「F」で認定されます。

⑤2006年度以前入学者で留学等、特に認められた場合には、卒業要件を満たしていても、修業年限が8年を超えないかぎり、1年だけ在学期間を延長することができます。希望をする場合は就学届提出時に、詳細について必ず学事担当窓口で確認してください。

⑥留学のために4月に実施される健康診断を受診できなかった場合は、9月のガイダンス期間中に実施される9月入学生のための健康診断を受診してください。

a. 塾派遣交換留学

本学では、世界各地の大学との間で学生交換を実施しており、それぞれに1年間、主に学部3・4年生が派遣されています。2012年度の交換留学協定校は、次を予定しています。

アメリカ：アレグニー大学、ボストン大学、ブラウン大学、
プリンマー大学、カリフォルニア大学EAP、
カーネギーメロン大学、ダートマス大学、ジョージタウン大学、
ハワイ大学マノア校、
イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校
イリノイ・ウェズリアン大学、マンハッタンビル大学、
メリーランド大学カレッジパーク校、
ノースカロライナ大学チャペルヒル校、ライス大学、
ワシントン大学、ウェスタンミシガン大学、
ウィリアム・アンド・メアリー大学、
ウィスコンシン大学マディソン校

カナダ：ブリティッシュ・コロンビア大学、マギル大学、
トロント大学、ヨーク大学、クィーンズ大学、CREPUQ (クレプク)

イギリス：バーミンガム大学、カーディフ大学、エジンバラ大学
ロンドン大学ロイヤルホロウエー校、
ロンドン大学東洋アフリカ学院、マンチェスター大学、
シェフィールド大学

アイルランド：ユニバーシティ・カレッジ・ダブリン

オーストラリア：オーストラリア国立大学、メルボルン大学、
ニューサウスウェールズ大学、クイーンズランド大学、
シドニー大学

ニュージーランド：オークランド大学、オタゴ大学

フランス：エセック経済商科大学院大学、パリ政治学院、リヨン第3大学、
ニース大学、パリ第1大学、パリ第3大学、
トゥールーズ社会科学大学、フランス高等師範学校、
HEC経営大学院

ドイツ：アーヘン工科大学、ベルリン自由大学、ボン大学、ケルン大学
ドレスデン工科大学、デュッセルドルフ大学、ハレ大学、
ザールラント大学、ジューゲン大学、ダルムシュタット工科大学、
WHUオットー・バイスハイム経営大学、ミュンヘン工科大学

オーストリア：ウィーン経済・経営大学

オランダ：アムステルダム大学、エラスムス大学ロッテルダム、ライデン大学

スウェーデン：ヨーテボリ大学、ウプサラ大学、ルンド大学、王立工科大学

ノルウェー：オスロ大学、ベルゲン大学

トルコ：ボアジチ大学

中国：香港中文大学、香港大学、マカオ大学、復旦大学、南開大学、南京大学
北京大学、浙江大学、中国人民大学、西安交通大学、清華大学

台湾：国立台湾大学、国立政治大学

韓国：梨花女子大学、延世大学、高麗大学、ソウル国立大学

タイ：チュラロンコーン大学

シンガポール：シンガポール国立大学、シンガポールマネジメント大学

インドネシア：インドネシア大学

アルゼンチン：トルクァト・ディ・テラ大学

イタリア：ヴェネツィア大学、ボッコーニ大学、ナポリ東洋大学

スイス：ベルン大学、チューリヒ大学、ジュネーブ大学

ギリシア：アテネ大学

スペイン：マドリード・コンプルテンセ大学、
ボンペウ・ファブラ大学

ロシア：サンクト・ペテルブルク大学

その他、次のような奨学金給費留学生（大学院在籍者対象、義塾に特別枠が与えられており、学内選考後に各団体へ推薦される）が選出されています。

- ・ドイツ学術交流会（DAAD）留学生
- ・イタリア文化会館／イタリア政府奨学金留学生（教員の派遣がない年度のみ）

詳細については、国際センターから毎年9月下旬に発行される「慶應義塾派遣交換留学生募集要項」および国際センターホームページ<<http://www.ic.keio.ac.jp/>> をご覧ください。

b. 短期在外研修 プログラム

国際センターでは、毎年夏季休業期間中に全学部生・大学院正規生（通信教育部を除く）を対象として、英国「ケンブリッジ大学ダウニングコレッジ」「オックスフォード大学リンカーンコレッジ」および米国「ウィリアム・アンド・メアリー大学(W&M)」「ワシントン大学」において夏季講座を開講しています。いずれも受講先大学の教員が直接指導にあたり、参加者の専門分野の知識を深めることを目的としています。ダウニングは英語による講義を中心に、オックスフォードはディベートや演劇のワークショップにも重点が置かれ、W&Mはグループリサーチを特徴とし、ワシントンは環境学をテーマとして体験学習旅行も含まれています。通常教室内で講義を受けるのとは異なり、自ら海外生活を経験しながら学ぶことで、国際性豊かな学生の育成を目指しています。

なお、SFCにおいて本夏季講座は、各々「他学部等設置科目」あるいは創造技法言語コミュニケーション科目「英語」（ダウニング、ワシントン）、創造技法言語コミュニケーション科目「英語」（W&M）の単位（いずれも4単位）として認められることがあります。

詳細については、プログラムガイダンス(SFC 4月4日)に参加するか、国際センターホームページ<<http://www.ic.keio.ac.jp/>> をご覧ください。（「海外に関心のある塾生へ」から「短期プログラム」）

また、春季休業中には英語によるEUに関する諸問題を扱う「パリ政治学院春季講座」と、韓国の政治・経済・社会・文化を学ぶ「延世大学春季講座」（学部生のみ）があります。「パリ政治学院春季講座」は、創造技法言語コミュニケーション科目「英語」として認められることがあります。

講座によって履修申告可能な分野は異なりますので、下記を参照してください。

「ウィリアム・アンド・メアリー大学」「ケンブリッジ大学ダウニングコレッジ」「ワシントン大学」「パリ政治学院」は、創造技法言語コミュニケーション科目「英語」として申告できます。

講座によって履修申告可能な分野は異なりますので、以下を確認のうえ春学期に履修申告してください。

- ①ウィリアム・アンド・メアリー大学
B欄分野「61:創造技法言語コミュニケーション科目英語」または「11:自由科目」
- ②ケンブリッジ大学ダウニングコレッジ
B欄分野「21:他学部等設置科目」または「61:創造技法言語コミュニケーション科目英語」または「11:自由科目」
- ③ワシントン大学
B欄分野「21:他学部等設置科目」または「61:創造技法言語コミュニケーション科目英語」または「11:自由科目」
- ④オックスフォード大学リンカーンコレッジ
B欄分野「11:自由科目」
- ⑤パリ政治学院
B欄分野「61:創造技法言語コミュニケーション科目英語」または「11:自由科目」
- ⑥延世大学
B欄分野「11:自由科目」

XI. GIGA プログラム

環境情報学部のGIGAプログラム(Global Information and Communication Technology and Governance Academic Program)は、慶應義塾大学の学部における初めての英語によるプログラムです。コアとなる授業はすべて英語で提供され、卒業に必要な単位を英語のみにより修得することができます。留学生には、日本の文化や社会を理解し、ひいては日本での就職の機会を増やすために、日本語を学ぶ授業も用意しています。

GIGA Programでは、特にICT(Information and Communication Technology、情報通信技術)分野の創造的能力とガバナンス能力の修得を目指します。社会が直面しているグローバルな問題に対して、課題発見を行ない、その解決策を地球規模で実践できる、知的コミュニケーションおよびコラボレーション能力に優れた人材を育成します。GIGAプログラムのカリキュラムは、講義形式の授業に加え、学生が能動的に参加するICT関連プロジェクトやガバナンスプロジェクト、海外フィールドワークやインターンシップなどを中心に構成しています。このカリキュラムを通して実践的な能力を持った21世紀社会においてグローバルに活躍できる人材を育成します。

サティフィケート

(1) 対象者	<ul style="list-style-type: none">・2011年9月以降の環境情報学部第1学年入学者・2012年9月以降の環境情報学部第2学年編入者・2014年4月以降の環境情報学部学士入学者
(2) 取得要件	卒業の条件ならびに以下の要件を満たすとサティフィケートが取得できる。 <ul style="list-style-type: none">・「サティフィケート要件科目」の中から80単位以上を修得すること。・同一科目名の「サティフィケート要件科目」の単位を複数修得している場合は、一度に限りサティフィケート要件に含める。
(3) 申請	AO入試(GIGAプログラム)で入学した学生はサティフィケート取得の申請は不要。その他の学生は最終学期に申請しなければならない。いずれも卒業時に発行する。 各年度開始時に当該年度開講の「サティフィケート要件科目」を確定し、3月下旬の時間割発表時に周知する。

慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス公認学生団体一覧

団体名	会の紹介	会員数
アインクライネスオーケストラ (EKO)	アインクライネスオーケストラは、SFCの学生を中心に活動しているオーケストラ団体です。他の音楽サークルとの交流なども大切にし、年2回の演奏会を目標に楽しくしっかりと週2回の練習に励んでいます。	30
Klavier Instrumental Sound Society (K'ISS)	本団体はピアノをこよなく愛する人々が集まり、それら各自の演奏技術の磨き合うとともに、発表(演奏会)、鑑賞を通してより人としての深みを求めることを目的とする。	30
茶道会(湘南藤沢) (茶道会)	茶道を実践研究することにより、文化・美術への関心を深め、あわせて会員相互の親睦を図ることを目的としています。毎週のお稽古を先生をお呼びし行うと共に、お茶会の催しなどの行事に取り組んでいます。	46
ROCK 研究会 (ロッキン)	SFC 唯一の軽音楽サークルです。毎月1回ほどの頻度でライブを行っています。特に定期的な練習などはありません。興味があつたら是非一度部室までいらして下さい。	60
アカペラシンガーズ Keio Official Entertainment (K.O.E)	結成16年目を迎えるアカペラサークルです。声を重ねて生まれる音楽を楽しみながら活動しています。一から創りあげる夏と冬のコンサート、ストリートライブや地域イベントなどの場で歌を届けています。	126
UNREAL (アンリアル)	所謂オタクサークルです。ゲームをしたり、アニメを見たり、同じ趣味を持つ友人と雑談をしたり…。定例会は週2~3回、部室は毎日誰かがいます。コミケに参加している他、学園祭ではコスプレ喫茶等をやっています。	45
ウィンドオーケストラ Dolce (Dolce)	DolceはSFC唯一の吹奏楽サークルです。学園祭、地域交流演奏、定期演奏会など盛りだくさん。ディズニーランドで演奏したことも…！みんなで楽しく活動しています。今後もDolceの活躍に乞うご期待♪	55
映画研究会 MOVE (MOVE)	映像や音楽を通して、表現活動をする団体です。主な活動内容は映画製作、映画上映会、音楽鑑賞、アウトドアです。	45
Alternative Energy Innovators (SAEI)	SFC 創立の翌年から続く伝統的な環境サークルです。環境問題について身近なところから考え、メンバーが自由にプロジェクトを創り実行しています。のんびりとしたアットホームな雰囲気のサークルです。	10
看護師・保健師国家試験対策委員会 (国対)	看護師・保健師国家試験に向けて4年次の学習のサポートを行い、学生の国家試験合格を目指すことを目的としている団体です。今年度は夢の「合格率100%」を実現するため、会員皆で意気込んでいます。	113
KRAM ensemble music (KRAM)	KRAMは学内外での訪問演奏活動を主体とするSFCのアンサンブルサークルです。編曲による楽器、ジャンル、編成を問わない音楽づくりが特徴です。国際交流、イベント、結婚式など活躍の場がとにかく多い！広い！	19
ゲームサークル DICE (DICE)	思考力、想像力の発展を目的に戦略性の高いカードゲーム、ボードゲームで遊ぶ。	14
劇団 EnTRoPY (えんとろぴー)	私たちは演劇を中心として、演技を通して表現力や、衣装や舞台のデザイン技術を向上させていくことを主な目的としています。また団員同士の交流も活発です。団員はいつでも募集中です。気軽にご連絡ください。	32
JUMP (ジャンプ)	藤沢市立湘南台小学校に設置された日本語教室で、主に外国籍児童の学習サポートをしているサークルです。また、地元NPOによる日本語教室のサポーターをしたり、多文化交流イベントに参加をしています。	21
スペイン舞踊部 (フラメンコ)	感情を自由に表現するフラメンコ。年に数回ある大きな公演に向けて、踊りはもちろんギターや歌にも取り組んでいます。初心者の方も大歓迎です。毎週火曜、金曜にフィットネスルームでお待ちしています。	24
4beat club (SFC ジャズ研)	湘南藤沢キャンパス唯一のジャズ研です。ジャズだけではなく、様々な音楽を聴いたり演奏したりして楽しんでいます。自分のペースで音楽を楽しみたい方、ぜひお越しください。	9
POOL BREAKERS (PB)	週に一度集まってポケットビリヤードの練習をしています。ビリヤード場のマスターの方々とも交流があり、ビリヤード場で開催されるハウストーナメントに参加したりもしています。	11
星空鑑賞サークル (ほかん)	本会は、日常の生活では滅多に目にすることのできない満天の星空と触れ合い、自然と親しむことを目的に、週に一度の星座勉強会と月に一度の天体観測会を行います。天文に関する知識が全くない人でも参加できます。	30

団体名	会の紹介	会員数
マジックサークル Dai Vernon (ダイバーノン)	本サークルは SFC を拠点にしたマジックサークルです。週 2 回大学内の教室で活動をしています。どんな上手なマジシャンでも最初はみんな初心者でした。初心者の方も、上級者の方も、皆で技術を磨いていきましょう！	11
漫画ゲーム制作団体 GAPCOM (GAPCOM)	企画・プログラム・グラフィック(イラスト・漫画)・サウンド(音楽)・シナリオ(ノベルズ)など、エンターテインメントコンテンツの総合クリエイター集団。SFC で唯一のゲーム制作公認サークルです。	6
ミュージカルサークル EM (EM (エム))	EM(エム)とは Engrossing Musical の略で、作る側も見る側も「夢になる」ミュージカルを目指し 2007 年春に発足しました。年 2 回の定期公演を中心に様々な活動を行っています。	53
八百藤 (やおふじ)	SFC 近くの畑で、無農薬有機栽培で野菜を育てています。近所の農家の方々と交流をしながら、楽しく野菜を作っています。気が向いた時に畑に行けば、きっと日頃の疲れを癒せる、スローライフなサークルです。	47
Link-Up Records (Link)	DJ や VJ など、クラブカルチャー全般を取り扱うサークル。音楽だけではなくフライヤーの政策などデザインも行う。定期的に学内、学外を問わず活動しています。SFC 内の他団体とももっと交流を行ってきたい。	30
合気会 (SFC 合気会)	合気道は自らの精神と身体の上昇を目的とした武道です。試合がなく、腕力に頼る武道でもないため老若男女を問わず稽古ができます。和気藹藹とした雰囲気の中で稽古をし、本部道場の師範にもご指導して頂いています。	12
OUTSIDERS (アウサ)	SFC 唯一のアメフトサークルです。週 3 回の練習を中心にリーグ戦勝利を目指して活動しています。アメリカ人気ナンバー 1 のスポーツを SFC で一緒に楽しみましょう。	22
ASHIZARU (足猿)	私達は男女関係なくフットサルを愛している人の集まりで、週に 1~2 回 SFC アリーナでエンジョイフットサルをモットーに活動しています。個々の個性が非常に強く、常に笑いが絶えることのない楽しいサークルです。	140
Ultimate Team HUSKIES (ハスキーズ)	ハスキーズはフライングディスクを使用したスポーツ、アルティメットのサークルです。個性豊かなメンバーが「強く、楽しく、ハスキーズ」というモットーのもと“日本一”になるため日々練習に励んでいます。	26
Anfield F.C. (アンフィ)	アンフィは真剣にサッカーに取り組むサッカーサークルです。皆が互いに協力し、サークルの運営を行っています。サッカーだけでなく行事にも力を入れています。皆仲が良く、とても楽しい、あたたかいサークルです。	40
F.C.ONZE (ONZE)	私達 FC.ONZE は SFC を拠点とし、サッカーという団体競技を通して学生同士の交流を深め、会員の社会性を高めることを目的として活動しています。年齢性別関係なく、みんなとても仲が良いサークルです！！	45
FC Pierrot (ピエロ)	慶應 SFC で活動を行っているフットサルサークルです。関東大学リーグ 1 部という高いレベルの中で、リーグ優勝を目指し、活動を行っています。ハイレベルな個人技による攻撃力と面白さが売りです。	24
ELK (ELK)	ELK は SFC を拠点とするアイスホッケーサークルです。日吉の塾生も所属しており、初心者ばかり約 20 名で週 2 回の練習や個人練習に励んでいます。スポーツを本気で取り組みたい人は練習必見です。	18
キライズ (キライズ)	SFC 唯一のバレーボールサークルです。練習は、週に 2, 3 回アリーナで、初心者から経験者まで皆仲良くやっています。練習だけでなく、イベントも盛りだくさん★大学生活を楽しみたいなら、やっぱりキライズ!!!	74
SALSA tropicana (tropi)	ラテンな世界に親しみ、ラテンなダンスや音楽を通じて様々な国籍・所属の人たちと交流を目的としています。週一回の練習やプロの先生による不定期のレッスン受講により、サルサダンスを習得しています。	8
SHAKE HAND (ハンド)	SHAKEHAND(通称 SHAKE) は、SFC 唯一のハンドボールサークルです。ハンドボール技術の向上や、ハンドボールの普及などを目標としており、市民大会への参加などの活動を行っている。	28
湘南スイムチーム (KSST)	KSST は自分のペースで泳ぎたい人から厳しい練習を望む人までいる SFC 唯一の水泳サークルです。新歓合宿に始まり、慶早戦観戦やスキー合宿までイベントも充実しているアットホームな楽しいサークルです。	20
SCUBA DIVING TEAM Seven Seas (Seven Seas)	私達 Seven Seas では、スキューバダイビングを楽しむという目的のもと、自立したダイバーになるべく技術の向上に努めています。海を愛する、元気なメンバーが集まったアットホームな団体です。	14
スティラーズゴルフクラブ (スティラーズ)	ゴルフが好きな人たちで、ゴルフやその他イベントを催し楽しむことを目的とします。学年ごとの団結力が強く、また OB・OG さんとの交流など縦の繋がりもあります。少人数ですが温もりのあるサークルです。	24

団体名	会の紹介	会員数
ソフトボールサークルライナーズ (ライナーズ)	SFC唯一のソフトボールサークルです。練習をすることで、男女共に心身の向上をはかりながら、イベント等の機会を通じて、仲間との親交を深め、みんなで作り上げるサークルを目指しています。	48
タッチフットボールチーム BREAKS (BREAKS)	タッチフットボールはアメフトからタックルや防具を除いた知的なスポーツです。スタートは全員初心者。普段は和気あいあいと、練習中は真剣に、日本一を目指して頑張っています！	10
Dance Unit W + I & S (W (ダブルベ))	約100名が所属するストリートダンスサークルです。春に大きな公演を行う他、秋祭、新歓、七夕祭などでもパフォーマンスをします。初心者でもやる気さえあれば上達が早く、1年生も6月の公演に出演します。	107
Team SWEAR (SWEAR)	TeamSWEARはテニスサークルで、初心者から上級者まで幅広く在籍しています。テニス以外でもBBQやクリスマスパーティーなど多くのイベントも行うことも特徴です。	110
Twinkles (Twinkles)	twinklesは初心者から経験者まで約40人が所属するバドミントンサークルです。毎週2回の練習を中心に、年に2度の合宿、他サークルとの試合大会、スキー合宿、コンパなどを行って楽しく活動しています。	35
Top Dogs (トップドッグス)	トップドックスはSFC最大級のテニスサークルで、テニスでは塾内、SFC内において上位の成績をおさめており、またその他様々なイベントを通してメンバーの親睦を深めています。	40
Don Dag (DonDag)	毎年3月に行われるダブルダッチコンテストの優勝を目標とし、SFCにおいての週2回の定期練習を行っています。また七夕祭、秋祭、三田祭への出演も毎年しています。	14
軟式野球サークル D's (D's)	軟式野球サークル D's です。毎週水金に練習しています。 3年ほど前には塾内大会準優勝の経験もあり、今年も狙っていくつもりです。興味ある方はぜひ!!!	33
軟式野球サークルマイナーズ (マイナーズ)	野球を通して友人関係を育み、大学生活を有意義に過ごすことを目標に、日々練習しています。	46
軟式野球 Slayers (スレイヤーズ)	学生が心身共に充実した生活を送り、野球を通して学生間の交流を深めることを目的としている。SFC グランドや近隣の球場で週2、3回の練習と毎週末に行う試合を中心に活動している。	20
猿之會 (バク)	我々、猿之會は、未経験者から花園経験者まで、多くの選手がラグビー経験の有無に関わらず楽しく活動しています。関東クラブ選手権優勝を目指し、チーム一丸となって楯円球を追いかけています。	30
バスケットボールサークル about (about)	本会はバスケットボールをするサークルである。毎週金曜日、湘南藤沢キャンパスにおいて活動し、地域の試合に出て練習の成果を見ている。また、自由で愉快的な家族のようなサークルである。	60
藤沢剣友会 (剣友会)	藤沢剣友会はSFCで唯一の剣道サークルです。大学時代にSFCで剣道をした人、また、始めたい人のためのサークルです。活動目的は、剣道を通して心身を鍛え、会員たちと交流することです。	10
藤沢柔道会 (藤柔会)	柔道を通じて心身の鍛錬を目指すサークルです。九大学対抗戦や目黒区体育祭柔道大会に参加し、楽しく活動しています。	4
muse (muse)	古典バレエ、ジャズ、ベリーダンス等様々な舞踊を互いに教えあいながら、技術の向上・身体の想像を追及し、踊る楽しさを分かち合い、既成型式にとらわれない舞踊作品を作ります。学内外問わず公演活動を行います。	6
やまの会 (やま)	活動場所は地球のでこぼこ。登山はもちろん、暑い夏は滝だつて登ります。日々の喧騒から離れ、いざやまへ！	6
諭吉蹴球会 (ゆきち)	諭吉蹴球会は、メンバーのほとんどが初心者であるサッカーサークルです。週1回の練習・試合・大会合宿等のイベントを通じ、メンバー間の親睦を深め、「楽しく明るく元気よく」をモットーに日々活動しています！	20
L'oeuf テニスクラブ (ルフ)	初級面、中級面、上級面に分かれて週に3回練習しています。なのでめきめきと上達していくこたちでいっぱいです！ガチでテニスしたい！って方も、0からゆっくり楽しみたい方も、ぜひぜひあそびにきてください!!	66
Rainbows (Rainbows)	湘南藤沢キャンパスで活動するチアリーディングサークルです。主に、七夕祭や秋祭でのステージや大会の出演、各種イベントまた、サークルの応援などの活動をしています。	10

団体名	会の紹介	会員数
籠球倶楽部 (Kageres)	KAGERS では初心者経験者、男女問わずバスケを通して楽しく活動しています。大会出場によって技術の向上もめざすとともに、日々の練習の他に合宿なども行い、サークルメンバーでの親睦も図っています。	57
LOGHOUSE (ログ)	週2回のテニス練習！練習のあとも全力で遊びます★学校でも休みの日でもいつも一緒♪なアットホームサークルです。大学で一生の友達作りたい！って人、大学生生活を思いっきり楽しみたい！って人はぜひログへ★	49

上部団体・福利厚生等の学生団体

団体名	会の紹介	会員数
文化団体連盟本部	私たち文化団体連盟本部は、加盟団体の活動の鼓舞、連携の強化を行っております。	9
体育会本部	我々体育会本部は、体育会全 40 部 55 部門を統括する学生主導の組織である。各学年最高 16 名から構成され、体育会における各種イベントや会議の運営を行い、体育会の運営円滑化のみならず盛り上げていく組織である。	29
福利厚生機関本部	福利厚生機関本部は、応援指導部・慶早戦支援委員会・共済部・IIR・S.Cの5団体から構成されており、塾生の学生活動を支援しています。また、全塾協議会の上部六団体に加盟し、学生自治の中心を担っています。	2
全塾協議会	「学生自治会費」の公正な配分、慶應義塾大学における学生自治活動・団体を統轄が主要な目的です。公選された事務局長を中心に定例会において、全塾における自治活動方針や諸問題の討議・決議を下しています。	28
応援指導部	東京六大学野球を始めとする各体育会の応援活動、並びに入学式や卒業式などの塾公式行事のサポートを通じて、慶應義塾の発展に貢献することを目的とする。	121
共済部	共済部は学生によって運営される団体です。活動内容として通常業務は塾生に対して住まいの斡旋、塾講師・アルバイトの紹介、家庭教師の仲介を行っています。毎年2～3月には主に新入生へ下宿紹介を行っています。	34
慶早戦支援委員会	私たち支援会は慶應義塾最大のイベントである野球慶早戦を支援しています。各キャンパスでの応援席券の販売や試合当日の球場での人員誘導や清掃活動、夜間警備などを行い、慶早戦を陰ながら支えています。	23
国際関係会	IIRは学生自治会費をもとに塾生に国際交流の機会を提供する団体です。提携校（海外に30校以上）で開かれる短期国際交流プログラムに塾生を派遣したり、日本のプログラムに海外学生を招待するのが主な活動です。	219
Student Counselors	私たち S.C. は新入生向けに大学の授業の取り方やサークル相談に乗って新入生の為に活動しています。また、三田や日吉のオープンキャンパスなどで高校生向けに受験相談やキャンパス・ガイドなどを行っています。	110
学生健康保険委員会	学生健康保険委員会は、塾生の健康の維持と促進を目的とした委員会です。朝食サービスの企画やスキーハウス・海の家運営など、様々な活動を通して塾生の健康に対する意識を促しています。	33
塾生会館運営委員会	日吉課外活動の拠点である塾生会館の管理・運営を行う委員会です。会館内における鍵の貸し借り、印刷機の使用、部室・練習場使用等に関して塾生の自治の手助けとなるよう努めています。	8
四谷自治会	私達の団体は信濃町キャンパスにおける医学部生、看護学部学生の公認文化団体への自治会費配布を含め、その活動をサポートする事が主な仕事になります。よろしく願い致します。	3
オリエンテーション実行委員会	入学式で新入生に配布される学生団体案内『オリエンテーションパンフレット』の作成、入学式後に行われるオリエンテーションの準備・当日運営を行い、新入生にサークル等の学生団体選択の機会を広く提供しています。	21
卒業アルバム委員会	卒業アルバムを製作し、大学生活を形に残します。慶應らしい行事やキャンパスの風景も凝縮しています。アルバムは、本冊・別冊・CDがあり、CDには慶早戦の生音を収録し、あの興奮がよみがえる一品です。	6
医学部卒業委員会	医学部生の卒業に関する行事を円滑に進めることを目的とした団体です。	38
理工学部卒業アルバム委員会	私達は学生時代の思い出がたくさん詰まった卒業アルバムを作るべく、日々活動を行っております。個人撮影・団体撮影といった活動を年間を通して行っておりますので、皆様のご協力よろしくお願い致します。	11
SFC Year Book 委員会	SFCの1年を綴った全学年対象のアルバムを、年1冊学生自身の手で製作しています。撮影や取材、編集棟を1年かけて行い、毎年進化し続けるSFCの“人”“思い出”を超えた“今”を形を残し続けていきます。	19
三田祭実行委員会	4日間で20万人の来場者数を誇る学園祭である三田祭の管理・運営を行っております。安全かつ円滑な運営のため、三田祭に参加する塾生のサポート、広報宣伝活動、渉外活動、企画立案などを行っています。	111

団体名	会の紹介	会員数
四谷祭実行委員会	当委員会は、医学部・看護医療学部を主体とした四谷祭が円滑に行えるよう、その運営を準備、管理、支援することを目的とし、広報活動、参加団体招致、渉外活動、本部企画立案などを行っています。	36
矢上祭実行委員会	毎年10月に開催される矢上祭の企画・運営をしています。広報・渉外活動、参加団体招致、本部企画立案などの活動を通して、理工学部のお祭りならではの価値を発信していきたいと思っています。	260
理工学部体育会連盟	矢上部各部の連携を円滑にし、また矢上部全体として一体となり協力し合っていく体制を整える。	2
七夕祭実行委員会	慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスにて毎年7月に開催される学園祭「七夕祭」の企画運営を行っています。実行委員による企画、校舎の装飾を始め、広報活動、渉外活動も行っております。	24
秋祭実行委員会	湘南藤沢キャンパスにおいて開催される秋祭の企画・運営を会の目的としています。活動内容としては、秋祭における企画、SFC内の装飾、学内外への広報、渉外活動、地域のお祭りへの参加などが主たる活動内容です。	26
理工学部学生団体ルーム運営委員会	当委員会は体育会矢上部に所属している各部の部室の管理を目的としている。部室の管理に問題のあると思われる部には忠告し、利用環境を整える。	1
理工学部グラウンド運営委員会	理工学部グラウンド運営委員会は、様々な団体が矢上グラウンドを快適に使用できるようにすることを目的としています。	1
理工学部ソフトボール実行委員会	理工学部所属の研究室を対象に行っています。理工学部間の親睦を図るため、さらに研究の息抜きとして、ソフトボールの試合をしてもらっています。	10
理工学部体育館運営委員会	他団体の使用時間をまとめ、体育館を円滑に使用できるよう調整する。	1
理工学部テニスコート運営委員会	体育会矢上部硬式庭球部・軟式庭球部・矢上教職員テニスクラブの三団体代表により構成されており、矢上台テニスコートの円滑な運営を目的とした団体である。	3
SFC クラブハウス棟執行委員会	クラブハウス棟執行委員会は、大学内のクラブハウス棟の円滑な運営を、大学から認められた自治という形式を持って行っており、我々は学生の代表として、率先してクラブハウス棟の自治、秩序を保つ努力をしています。	17
SFC 音楽団体連盟	SFC 音楽団体連盟は、SFCに本部を置く音楽系学生団体から構成されています。学内で催される七夕祭や秋祭の協力、θ館など、音楽団体の活動に関わる施設の使用調整を行なっています。	5
SFC 映像工房	映像工房では、θ館コンサルタント、PA機器の貸し出し、学事での音響技術の提供、また学内放送やコミュニティFMでの番組制作等、SFC内における映像環境の向上を目的として、様々な活動を行っています。	40
SFC Campus Village	福利厚生団体 Campus Village は、新入生の入居相談や履修相談、ならびにキャンパス内の案内をSFCキャンパス内にて行う。	13
SFC グラウンド・アリーナ調整委員会	SFCのグラウンドおよびアリーナを利用する学生団体の担当者によって構成される団体。定期的に会議を開き、各団体に対して各施設の利用日時を調整する。	30
SFC テニス連盟	SFCにおけるテニスを通じたコミュニケーション、交流を行っています。また、夏と秋に行われるSFC個人戦の運営も行っていきます。	7
芝学友会	薬学部の全学生で構成されている自治団体です。新歓オリエンテーション、芝浦和祭、芝共楽祭、謝恩会等の企画、運営を行う各委員会を統制しています。またPCによる広報活動などもおこなっています。	5



1. 見よ

風に鳴るわが旗を
新潮寄するあかつきの
嵐の中にはためきて
文化の護りたからかに
貫き樹てし誇りあり
樹てんかな この旗を
強く雄々しく樹てんかな
あゝ わが義塾
慶應 慶應 慶應

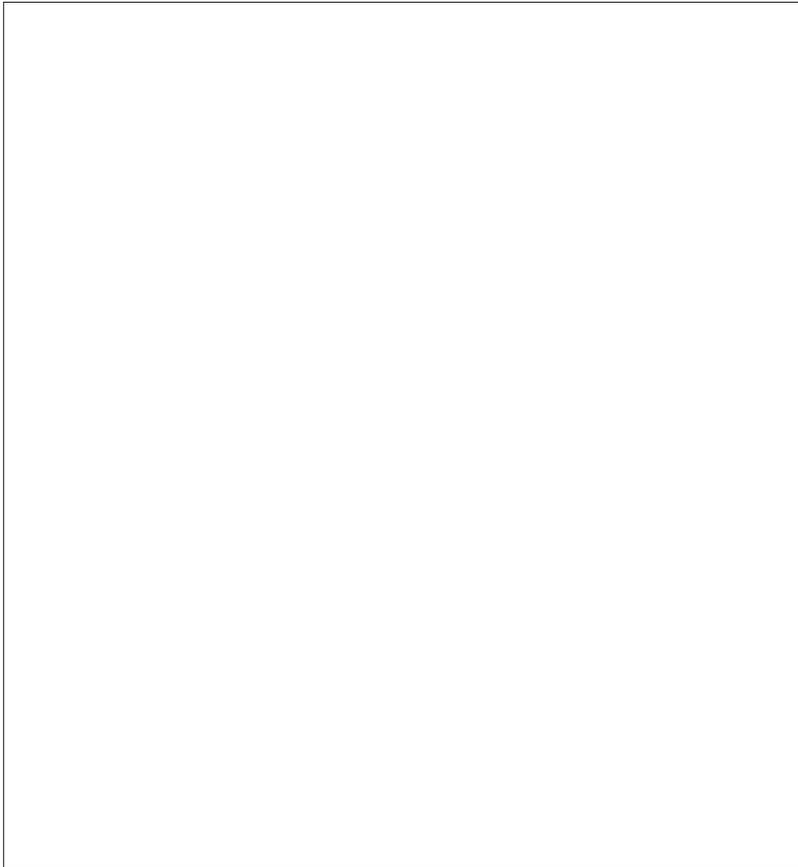
2. 往け

涯なきこの道を
究めていよゝ遠くとも
わが手に執れる炬火は
叡智の光あきらかに
ゆくて正しく照すなり
往かんかな この道を
遠く遙けく往かんかな
あゝ わが義塾
慶應 慶應 慶應

3. 起て

日はめぐる丘の上
春秋ふかめ揺ぎなき
學びの城を承け嗣ぎて
執る筆かざすわが額の
徽章の譽世に布かむ
生きんかな この丘に
高く新たに生きんかな
あゝ わが義塾
慶應 慶應 慶應

若き血に燃ゆる者
光輝みてる我等
希望の明星仰ぎて此処に
勝利に進む我が力
常に新し
見よ精鋭の集う処
烈日の意気高らかに
遮る雲なきを
慶應 慶應
陸の王者 慶應



1.

光あふるゝ三田の山
我等が校庭に集いたる
希望に充ちし若人は
独立自尊の城南健児
我等が若き力以て
理想の祖国を打建てん
慶應 慶應 慶應義塾
その名讃えん我が母校

2.

栄えに輝く三田の山
意気と力と熱情の
血潮に燃ゆる男の子等が
今ぞ戴く覇権の冠
かぶり火映ゆる丘の上
凱歌を挙げん高らかに
慶應 慶應 慶應義塾
いざや讃えん我が母校

3.

あゝ美しき三田の山
第二の故郷三田の山
共にむつみし幾年は
心に永くとゞまらん
月去り星は移るとも
夢に忘れぬその名こそ
慶應 慶應 慶應義塾
永遠に讃えん我が母校

1.

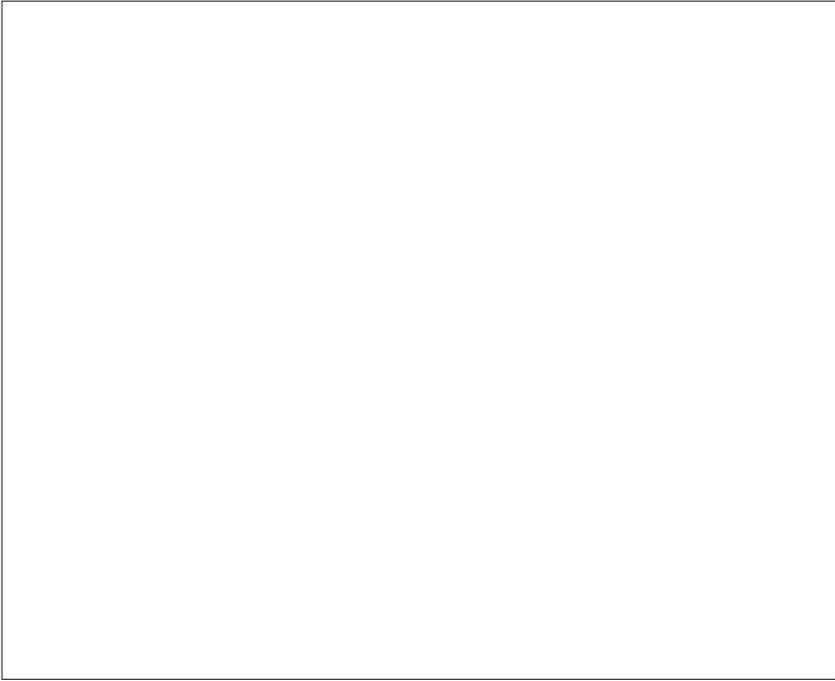
丘の上には空が青いよ
ぎんなんに鳥は歌うよ歌うよ
あゝ美しい我等の庭に
知識の花を摘みとろう

2.

窓を開けば海が見えるよ
朗らかに風は渡るよ渡るよ
あゝ囁と理想のラッパを
あなたの空に吹きならそう

3.

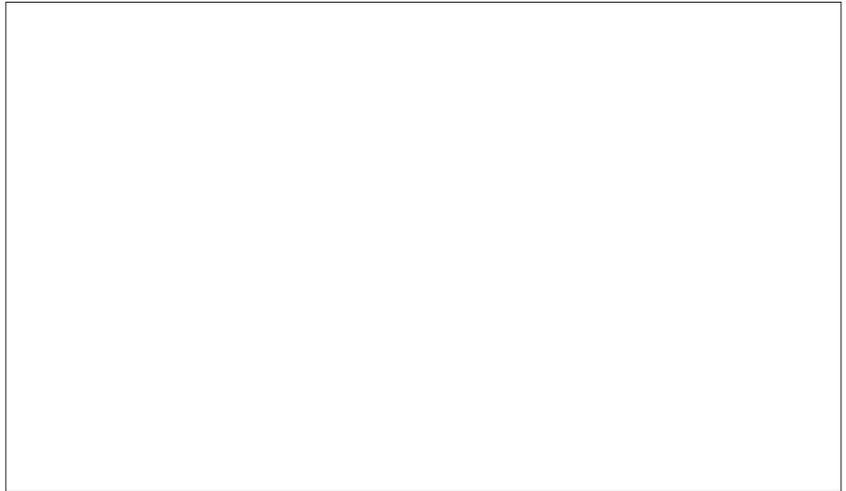
新しい時代の鐘がひびくよ
若人の胸は躍るよ踊るよ
あゝ華やかに若き命を
声張り挙げて歌おうよ



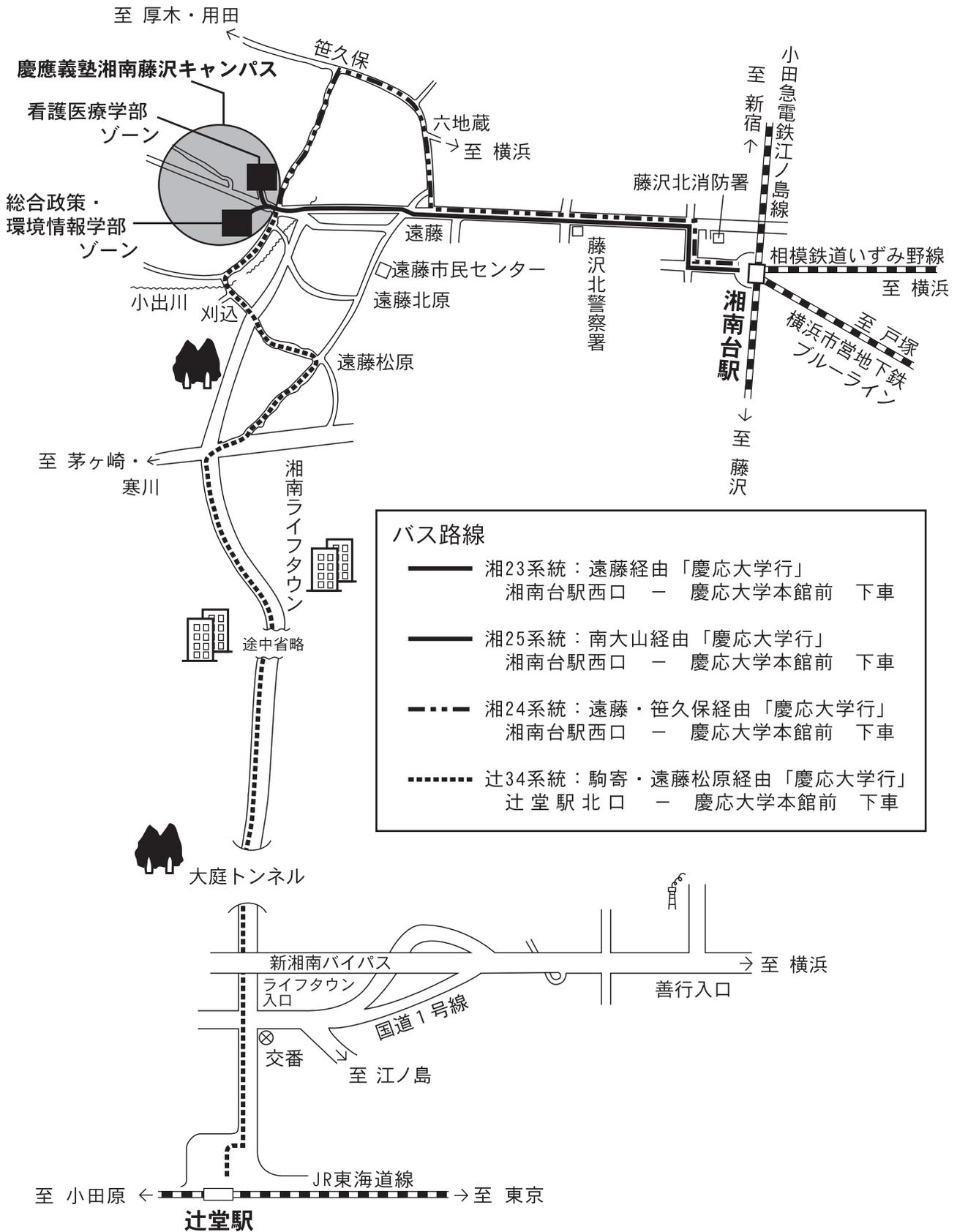
おお
わが慶應
美わしき
三田の山なる
わが母校
おお
わが慶應
かぐわしき
若き血潮の
ふるさとよ

ワセダをたおせ
ワセダをたおせ
ワセダをたおせ

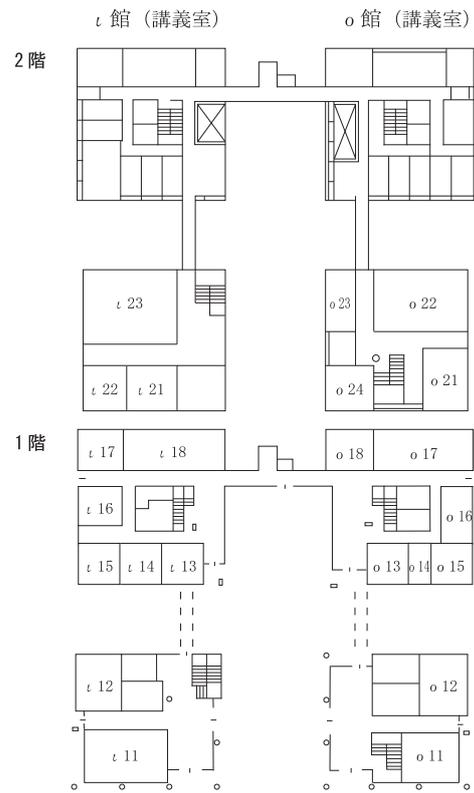
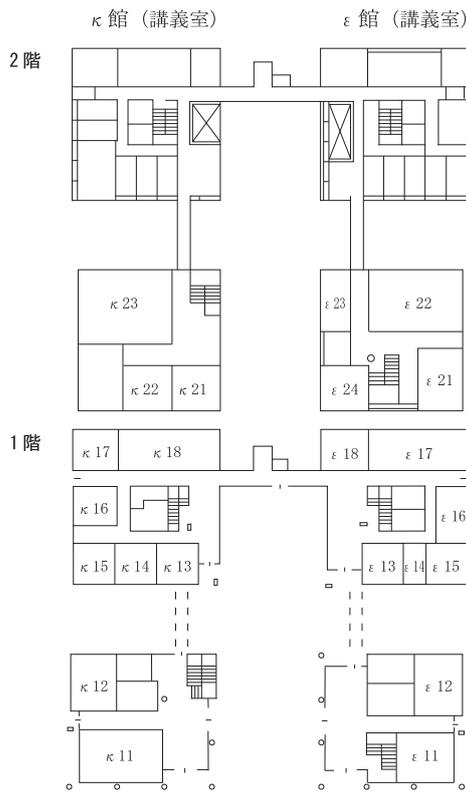
カットバスぞ
カットバスぞ
かつぞ
かつぞ
ケイオー



湘南藤沢キャンパス周辺地図

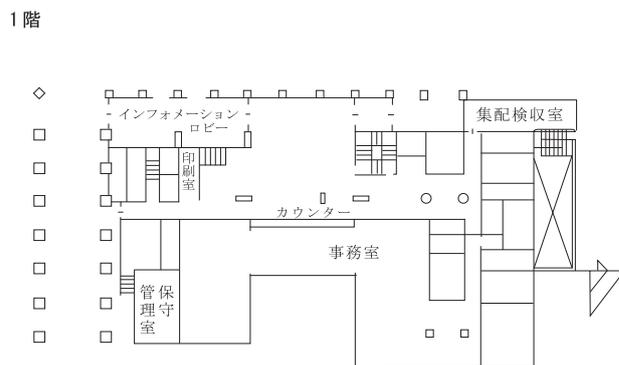
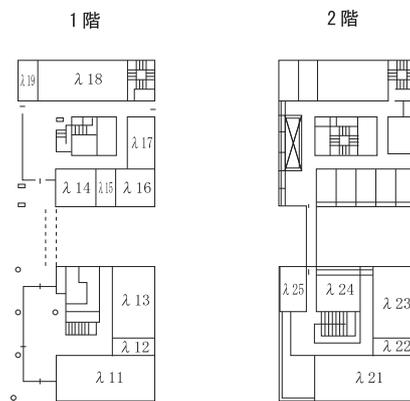
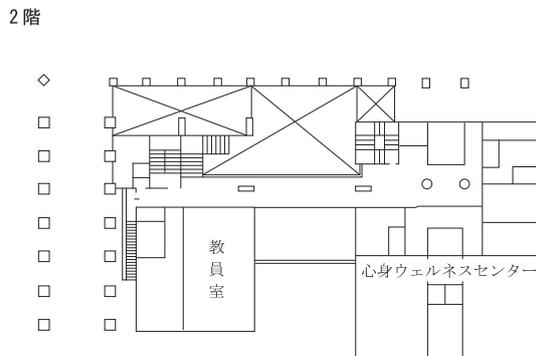


湘南藤沢キャンパス 施設案内図

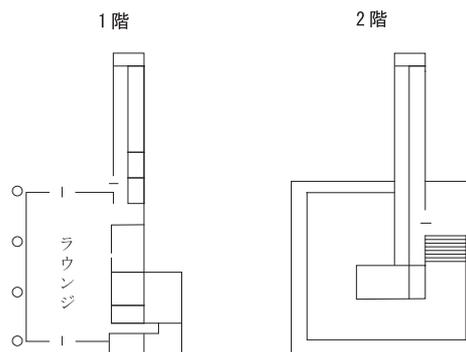


A 館 (事務室など)

λ 館 (講義室)



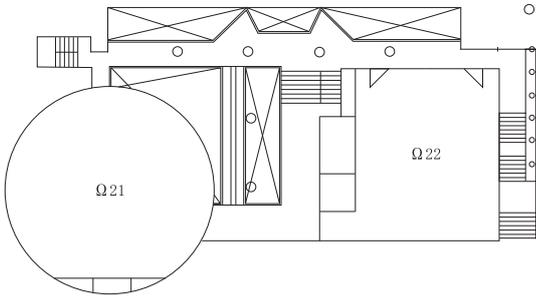
学生ラウンジ



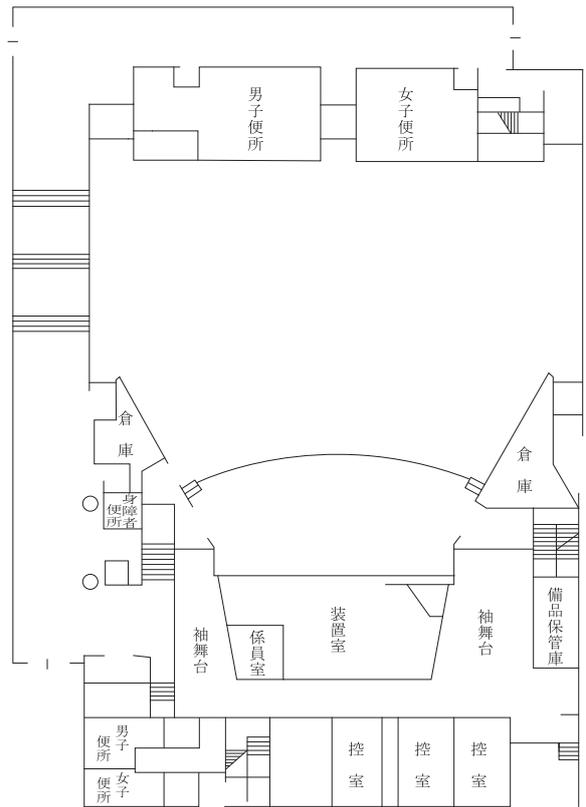
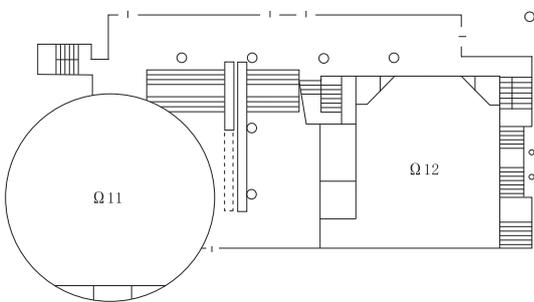
Ω館（大講義室）

θ館（大講義室）

2階



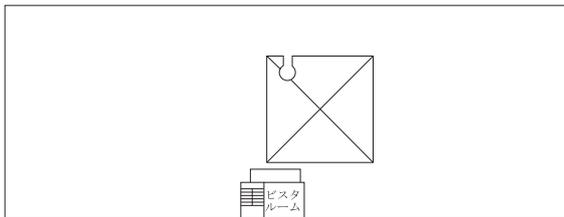
1階



M館（メディアセンター・ITC）

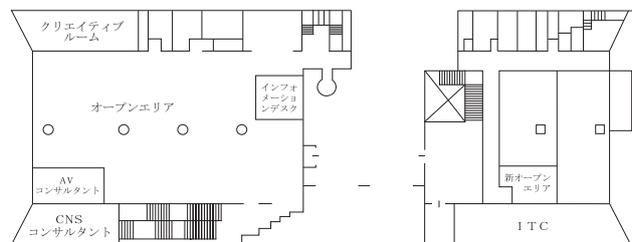
4階

ビスタルーム



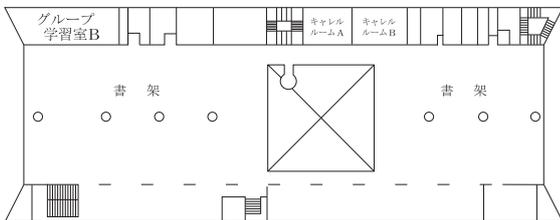
1階

オープンエリア



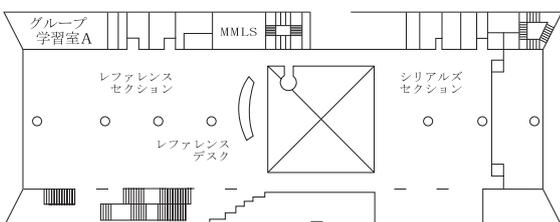
3階

ライブラリーエリア, キャレル



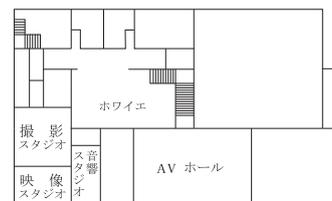
2階

ライブラリーエリア



地階

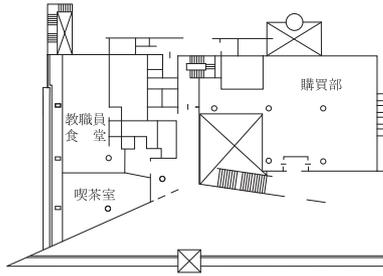
スタジオエリア



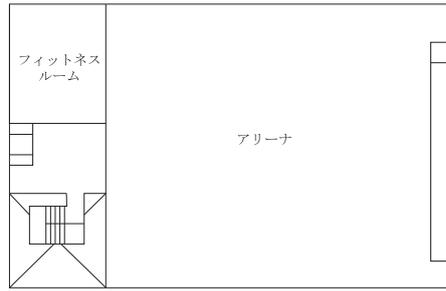
Σ館（厚生施設）

Γ館（体育施設）

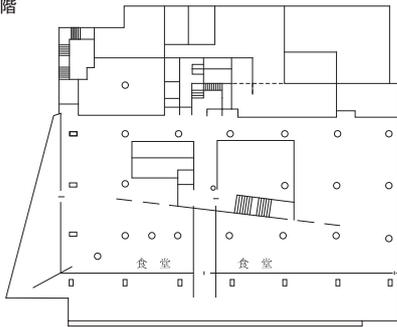
1階



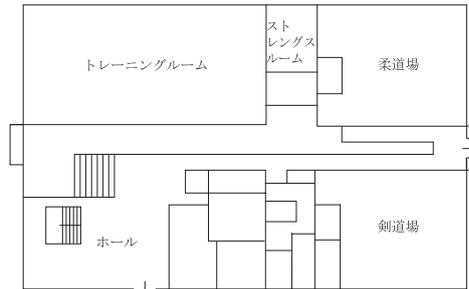
2階



地階

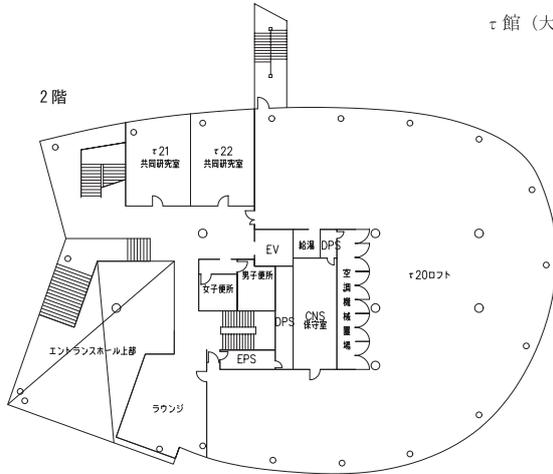


1階

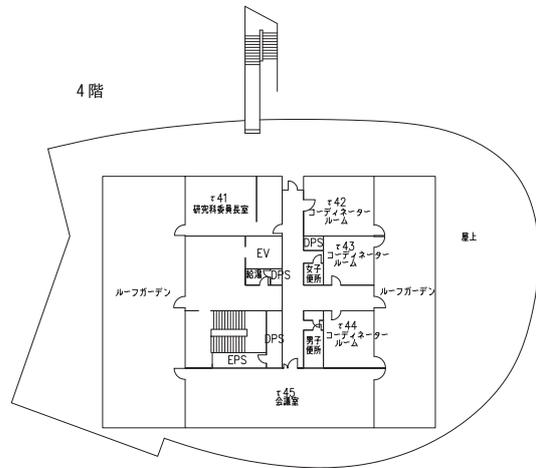


ε館（大学院棟）

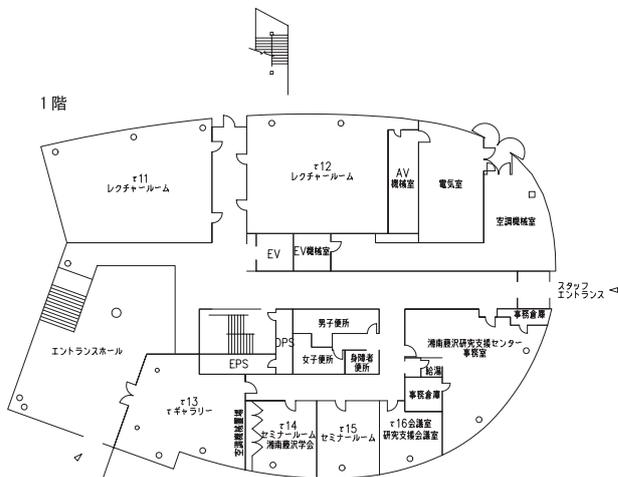
2階



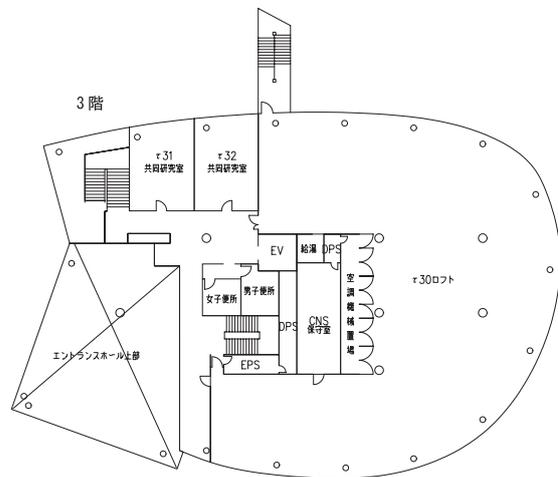
4階



1階



3階



慶應義塾における個人情報の取扱い

2005年4月からの「個人情報保護法」の全面施行に伴い、慶應義塾は個人情報を適正に取り扱い、個人情報取扱事業者としての責任を全うし、義塾の個人情報保護の姿勢を塾内外に明らかにするために、「個人情報保護基本方針」を制定しましたので、お知らせいたします。塾生等の個人情報の具体的な取扱いおよび個人情報取扱事業者が遵守すべきルールについては、次頁をご参照ください。個人情報を安全に保護し、利用できる皆様方のご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

なお、個人情報の取扱いに関するお問い合わせは、一貫教育校各事務室、大学各事務室または個人情報保護管理室にお申し出ください。

2012年4月 慶應義塾

慶應義塾個人情報保護基本方針

慶應義塾（以下、「義塾」といいます。）は、義塾建学の精神である「独立自尊」の理念に基づき、義塾に在籍する学生・生徒、病院等医療機関の患者・利用者の方々、教職員その他の個人の人格を尊重するという見地から、個人の人格の尊厳に由来するプライバシーを擁護し、個人情報の保護に関する法律（以下、「個人情報保護法」といいます。）が定める個人情報を適正に取り扱うため、本基本方針を定めます。

義塾は、個人情報保護法および関係諸法令に定められた内容を遵守することはもとより、個人の人格尊重の理念に基づき適正と考えられる方法で個人に関する情報を取り扱います。

また、教職員その他義塾の業務に従事する者（以下、「従業者」といいます。）は、個人に関する情報を適正に取り扱うことが個人の人格尊重の理念に由来するものであることを強く自覚し、個人に関する情報の取扱いに当たっては、個人情報保護法および関係諸法令、ならびに義塾が定める諸規則を遵守するものとします。

上記に基づき、義塾は以下の取り組みを行います。

1 個人情報の利用と安全管理

義塾は、教育、研究、医療その他義塾が行う諸事業を遂行するに当たり、利用目的をできる限り特定し、その利用目的の達成に必要な限度で個人情報を適正に利用し、諸事業の円滑な遂行に当たるとともに、義塾が提供する各種のサービスをより充実したものとします。

義塾が取得した個人情報については、その安全管理のために必要かつ適切な組織的、物理的ないし技術的な措置を講じます。教職員その他の従業者にこれを取り扱わせるに当たっては、その安全管理が図られるよう、当該従業者に対して必要かつ適切な監督を行います。

2 個人情報保護規程の制定

義塾は、個人情報を適正に取り扱うため、本基本方針の内容を具体化するものとして、「個人情報保護規程」を制定します。

義塾および教職員その他の従業者は、当該規程およびその関連諸規則に準拠して、個人情報を取り扱います。当該規程およびその関連諸規則については、社会情勢の変化、運用実態を踏まえて、適宜改正を行います。

3 個人情報保護の組織・体制

義塾は、個人情報を適正に取り扱うため、以下のとおり、個人情報を保護するための組織・体制を整備します。

- (1) 義塾は、塾長が指名する常任理事1名を、個人情報保護統括管理責任者に任命します。
- (2) 義塾は、個人情報の保護に関わる重要事項等について審議するため、「個人情報保護委員会」を設置し、今後発生することが予想される諸問題に適切に対応します。
- (3) 義塾は、個人情報の取扱いに関する相談・苦情に対して適切かつ迅速に対応するため、相談・苦情対応窓口として個人情報保護管理室を設置します。

（個人情報取扱事業者の氏名または名称）

慶應義塾

（個人情報の取扱いに関する相談・苦情の申出先）

塾長 清家 篤

個人情報保護管理室

住所 東京都港区三田2-15-45

塾監局総務部内

電話番号 03-5427-1845

FAX 番号 03-3769-1564

E-mail kojinhoho@adst.keio.ac.jp

塾生、保護者・保証人の方々にかかわる個人情報の取扱い

- 1 義塾の学生・生徒・児童等の主な個人情報は、次のとおりです。
 - ① 塾生本人の氏名・住所・電話番号・生年月日・出身校等
 - ② 保護者・保証人の氏名・住所・電話番号（自宅および緊急連絡先）・本人との続柄等
 - ③ 塾生等の学籍・成績・健康診断・在学中のその他の活動履歴情報、寄付金・慶應カードの申し込みデータなど

- 2 個人情報を取り扱うに当たっては、あらかじめ利用目的を特定し、明示いたします。特定した利用目的以外には利用しません。また、利用目的を変更する場合は、本人に通知するか、義塾のホームページへの掲載、所定掲示板への掲示等により公表いたします。

- 3 個人情報は、以下の諸業務遂行のために利用します。
 - ① 入学手続および学事に関する管理、連絡および手続
 - ② 学生生活全般に関する管理、連絡および手続き
 - ③ 大学内の施設・設備利用に関する管理、連絡および手続
 - ④ 寄付金、維持会・慶應カードの募集等に関する書類発送およびその他の連絡
 - ⑤ 本人および保護者・保証人に送付する各種書類の発送
 - ⑥ 卒業後の刊行物の発送、評議員選挙および寄付金・維持会・慶應カードの募集等に関する各種書類送付とこれらに付随する事項

- 4 上記3の業務のうち、一部の業務を慶應義塾から当該業務の委託を受けた受託業者において行います。業務委託に当たり、受託業者に対して委託した業務を遂行するために必要となる範囲で、個人情報を提供することがあります。

- 5 三田会または同窓会から要請があったときは、当該三田会または同窓会に所属する者の個人情報を当該組織の活動に必要な範囲で提供することがあります。

- 6 慶應義塾は、上記3～5の利用目的の他には、特にお断りする場合を除いて個人情報を利用もしくは第三者への提供をいたしません。ただし、法律上開示すべき義務を負う場合や、塾生本人または第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を保護するために必要であると判断できる場合、その他緊急の必要があり個別の承諾を得ることができない場合には、例外的に第三者に個人情報を提供することがあります。



KEIO SFC GUIDE 2012

vol.1

発行日 2012年(平成24年)4月1日

発行者 慶應義塾大学

編集 湘南藤沢事務室

表紙デザイン 鈴木杏奈

写真提供 SFC YEAR BOOK 委員会

制作 有限会社 橋本写真館
